

令和7年度

事業概要

社会福祉法人 昭徳会

小原寮

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

「 幸福 」



1. ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
2. ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援、援助をします
3. ひとりひとりを大切に、まごころで接します
4. わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
5. わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます



《職員行動指針》

(対人援助)

第1条 いつも笑顔で接します

笑顔は、「すべての人」「すべての時」「すべての場面」において、相手を豊かで快適な気持ちにさせることができます。私たちは、笑顔こそ最良の行動と考え、いつも最高の笑顔を社会に提供し、未来を明るく照らす存在になることを目指します。

(思いやり 素直さ)

第2条 謙虚な姿勢で接します

人の話に耳を傾け、分からぬ事は聞き、自分に非がある時は「すみません」「ごめんなさい」が言えること。
すべてに共通する気持ちは素直です。素直な気持ちは、誠実な人格形成につながり、良好な人間関係づくりに大切です。

(共 感)

第3条 同じ目線で向き合います

関わる全ての方に対し誠実な姿勢で「向き合い」、「共に喜び」「共に悲しみ」「共に考え」、またその全てを「認めること」や「受け入れること」が相手への尊重・共感に繋がります。

(仕事への姿勢)

第4条 いつも前向きに取り組みます

不平不満を口にすると、3つの“無い”(変わらない・創られない・生み出さない)が増えるだけです。
嫌なことや辛いこととも向き合ってみて、ありのままを受け止めることができたその先に、成長があるはずです。
未来の私たちに悔いを残さないよう、前を向いて歩きます。

(自己研鑽)

第5条 学ぶ姿勢を持ち続けます

「学ぶ」ということは、技術・知識だけではなく、言葉遣い、気配り等、人間性を高めることも対象になっています。
ミスの無い確実な仕事をするためにも、常に学んで自己を高めていくことが大切です。

(地域貢献)

第6条 地域との繋がりを大切にします

地域に目を向け、地域からの役割を理解し、地域のために尽くします。

(健康管理)

第7条 心と身体を大切にします

より良いサービスを提供するためには、心身の健康を保つことも大切な仕事です。

(問題解決)

第8条 小さな気づきを大切にします

目の前の小さな問題に気づかず放置すれば、後で大きな問題になります。
普段の仕事の中であたりまえと思わず、どんな小さなことでも自ら気づくことが、問題解決の最善策です。

(連携 チームワーク)

第9条 チーム力を高めます

目的を共有し、相互に支え合い、円滑なコミュニケーションを図ることが大切です。

(感謝)

第10条 感謝の気持ちで接します

感謝には相手を労い・敬う言葉がたくさん含まれています。感謝を伝え合うことでたくさんの変化もたらしてくれます。どの様な状況であっても、まずは「ありがとうございます」という気持ちで向き合います。

目 次

1. 施設の概要	1
2. 職員配置及び組織の状況	2～3
3. 令和7年度 収支予算書	3
4. 防災対策状況	4
5. 令和7年度 事業計画	5～6
6. 支援体系図	7
7. 会議・委員会	8
8. 利用者の状況	9～11
9. フロアユニット・棟の紹介	12～17
10. 健康管理	18～20
11. 給食関係	21～22
12. 令和6年度の利用者の主な取り組み	23～28
13. 家族とのつながり	29
14. 身元引受人・成年後見人の状況	30
15. 家族の面会および帰省状況	30
16. ボランティア受入延べ人員状況	30
17. 短期入所事業の状況	31
18. 特定相談支援事業の状況	32
19. グループホームさくやの概要	33～34
20. 令和6年度 職員会議・研修参加状況	35～36
21. 苦情解決組織図	37
22. 虐待防止について	38～39

添付資料

建物配置図

☆ 小原寮へのアクセス

1. 施設の概要

(1) 目的

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律により、支給決定を受けられている方に対して、自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、保護並びにその更生に必要な支援及び介護を適切に行う。

(2) 名称等及び所在地

①名称 障害者支援施設 小原寮
②事業名及び定員 施設入所支援事業 140名（事業者登録番号 第2313400828号）
生活介護事業 140名（事業者登録番号 第2313400828号）
短期入所事業 9名（事業者登録番号 第2313400828号）
※特定相談支援事業所（事業者登録番号 第2333400279号）
③所在地 愛知県豊田市沢田町座内22番地

(3) 設置経営

社会福祉法人 昭徳会

(4) 沿革

昭和56年 4月 1日 知的障害者更生施設 愛知県 三好寮として事業開始(定員50人)
昭和57年 4月 1日 定員100人に変更
平成17年 3月31日 愛知県 三好寮を閉鎖し、豊田市沢田町(旧小原村)に移転
平成17年 4月 1日 旧三好寮の利用者100人が、豊田市沢田町(小原福祉ビレッジ)に移動するとともに、発達障がい者(自閉症等)療育施設(C棟)の対象者を50人増とし、知的障害者更生施設 小原寮として事業開始(定員150人に変更)
平成18年10月 1日 障害者自立支援法の施行に伴い、施設の名称を、知的障害者更生施設 小原寮から、『知的障害者援護施設 小原寮』に変更
平成24年 4月 1日 障害者自立支援法による事業移行に伴い、施設の名称を、知的障害者援護施設 小原寮から、『障害者支援施設 小原寮』に変更(定員149人に変更)
平成25年 4月 1日 障害者自立支援法が改正され、「障害者総合支援法」施行に伴う定款の変更
平成26年 6月 1日 特定相談支援事業所(併設)を開始
平成27年 4月 1日 定員140人に変更
平成27年 4月 1日 共同生活援助事業を開始(グループホームさくやを開設)

(5) 敷地及び建物

ア 敷地 小原福祉ビレッジ内 44,308m²(小原学園と共に用の総敷地面積)
イ 建物 小原寮(A・B・C棟の計) 建物面積 6,368m²
作業棟(2棟)面積 400m²
ウ 建物構造 鉄筋コンクリート造、2階建

2. 職員配置及び組織の状況

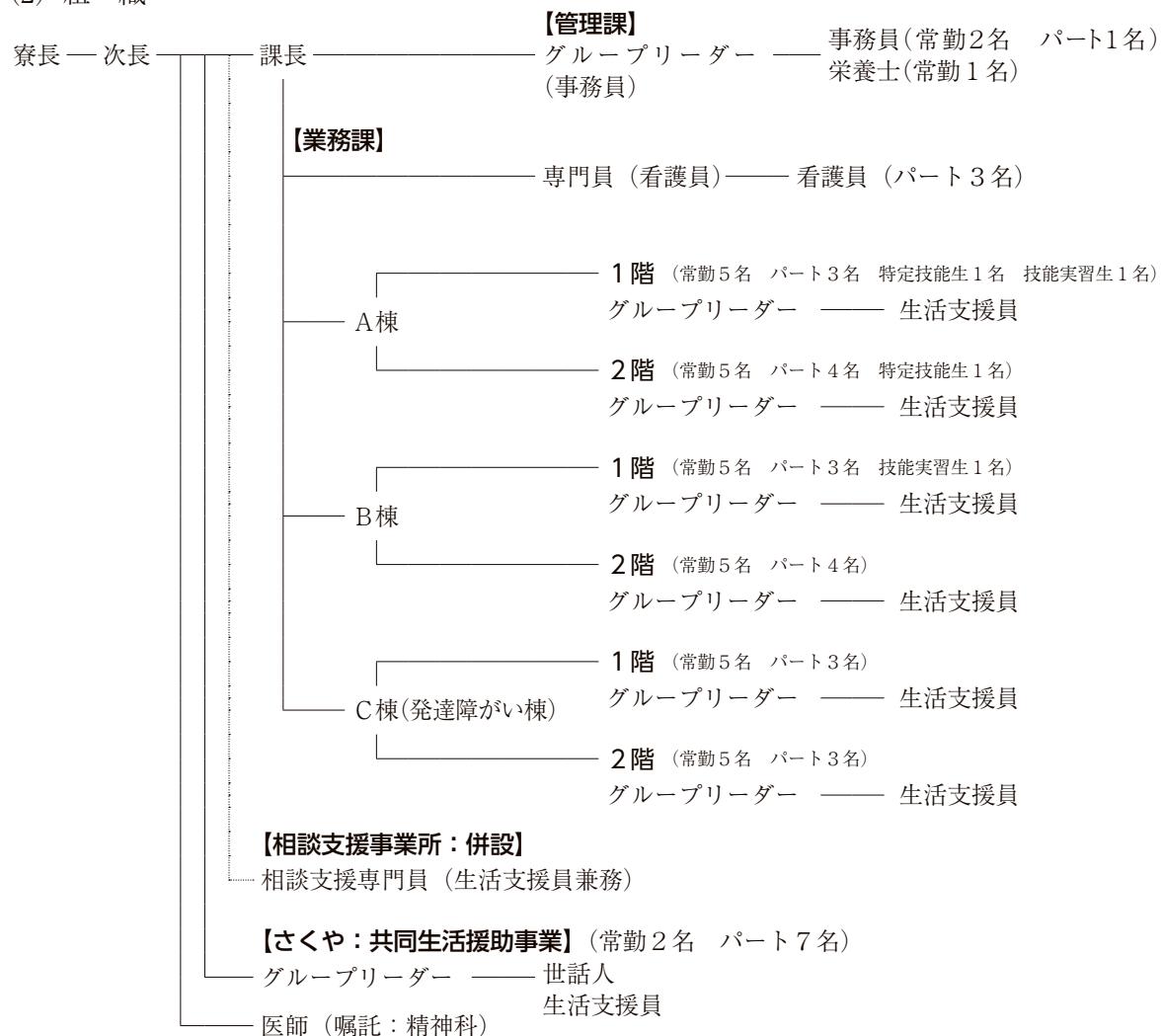
(1) 職員配置

令和7年4月1日現在

職種	員数	内訳		常勤換算後の人員	指定基準	備考
		常勤	非常勤			
施設長（管理者）	1	1		1	1	相談支援事業所管理者 グループホーム管理者
サービス管理責任者	3	3		3	3	
生活支援員	56	36	20	47.5	42.1	利用者：職員比率（実人員）
看護員	4	1	3	2.8	2	3:1 (2.57:1)
特定技能生	2	2		2		
技能実習生	2	2		2		
事務員	4	3	1	3.9		
栄養士	1	1		1		
医師	1		1	1	1	嘱託：精神科
計	74	49	25			※グループホームは33ページに記載

※生活支援員2名：特定・一般相談支援事業所 相談支援専門員兼任

(2) 組織



(3) 勤務体制表

職種	時勤務区分	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 1 2	勤務時間	休憩時間
生活支援員 サービス 管理責任者	早出	7:00 11:30 13:00 16:00	7:00 11:30~13:00 (内1時間)	11:30~13:00 (内1時間)
	日勤	8:00 12:30 13:30 17:00	8:00 12:30~13:30	12:30~13:30
		8:30 12:30 13:30 17:30	8:30 12:30~13:30	12:30~13:30
		9:00 12:00 13:30 18:00	9:00 12:00~13:30 (内1時間)	12:00~13:30 (内1時間)
		10:00 13:00 14:00 19:00	10:00 13:00~14:00	13:00~14:00
		11:30 15:30 16:30 20:30	11:30 15:30~16:30	15:30~16:30
	遅出	12:00 15:30 17:30 21:00	12:00 15:30~17:30 (内1時間)	15:30~17:30 (内1時間)
		12:30 15:30 17:30 21:30	12:30 15:30~17:30 (内1時間)	15:30~17:30 (内1時間)
	準夜	15:30 20:00 22:00 0:30 16:00 1:00	15:30 20:00~22:00 (内1時間)	20:00~22:00 (内1時間30分)
	深夜	0:30 B棟 3:00 5:00 9:30 1:00 AC棟 10:00	0:30 3:00~5:00 (内1時間)	3:00~5:00 (内1時間)
生活支援員	準夜	17:30 23:30 0:30 2:30	17:30 23:30~0:30	23:30~0:30
	深夜	2:30 5:00 6:00 11:30	2:30 5:00~6:00	5:00~6:00
	宿直	12:00 15:30 17:30 21:00 23:00 仮眠 6:30 12:30	12:00 15:30~17:30 (内1時間)	15:30~17:30 (内1時間)
		12:00 15:30 17:30 21:00 23:00 仮眠 6:30 12:30	21:00 23:00~6:30 12:30 仮眠時間	23:00~6:30 仮眠時間
事務員 サービス 管理責任者 看護員 栄養士	日勤	8:30 12:30 13:30 17:30 9:00 12:00 13:00 18:00	9:00 12:00~13:30	12:00~13:30 (内1時間)
	管理当直	仮眠	仮眠	18:00

勤務時間 休憩時間

3. 令和7年度収支予算書

(単位：千円)

収入の部			支出の部		
区分	科目	金額	区分	科目	金額
事業活動による収入	自立支援費等収入	733,720	事業活動による支出	人件費支出	395,316
	借入金利息補助金収入	101		事業費支出	139,683
	寄付金収入	10		事務費支出	102,885
	受取利息配当金収入	51		支払利息支出	203
	その他の収入	11,063		その他の支出	1,533
	小計	744,945		小計	639,620
施設設備等による収入	借入金元金償還補助金収入	5,950	施設設備等による支出	借入金元金償還補助金支出	11,900
				固定資産取得支出	55,883
	小計	5,950		小計	67,783
その他の活動による収入	退職給付引当資産取崩支出	5,000	その他の活動による支出	積立資産支出	3,462
				拠点区分間繰入金支出	30,000
				予備費	15,000
				その他の活動による支出	30
	小計	5,000		小計	48,492
合計		755,895	合計		755,895

(注) 小原寮拠点区分での予算書 (グループホームさくやを含む)

4. 防災対策状況

令和6年度実績

月／日	実施内容	参加者
6月25日	火災・地震避難訓練（昼間想定B棟）	利用者 46名 職員 8名
7月10日	火災・地震避難訓練（夜間想定A棟）	利用者 48名 職員 8名
10月25日	火災・地震避難訓練（昼間想定C棟）	利用者 42名 職員 5名
6月18日	3施設合同避難訓練（避難訓練・消火訓練）	利用者 135名 職員 54名
9月16日～ 9月30日	火元責任者自主点検	
10月21日	昭徳会合同総合避難訓練（通報・避難・消火訓練・炊き出し訓練）	利用者 132名 職員 56名
11月25日	火災・地震避難訓練（昼間想定A棟）	利用者 46名 職員 9名
12月23日	火災・地震避難訓練（昼間想定C棟）	利用者 42名 職員 7名
1月30日	火災・地震避難訓練（夜間想定B棟）	利用者 44名 職員 5名
3月15日	通報訓練（災害ダイヤル使用訓練）	
3月19日	火災・地震避難訓練（夜間想定C棟）	利用者 42名 職員 4名
6月10日 6月12日 8月 5日 10月15日 10月30日 11月29日 2月10日 2月26日	普通救命講習（心肺蘇生法・AEDの使用などの基礎講習）	職員 63名

防災訓練の実施（小原寮防災要領 第20条）

訓練種目	訓練内容
通報訓練	消防署及び、職員非常連絡網により訓練する
消火訓練	消火器の取扱いを習得し、消火の基本を訓練する
避難訓練	夜間想定訓練を含む避難訓練を実施する
救急訓練	蘇生訓練等及び怪我の応急措置等について訓練する
総合訓練	消火、通報及び避難誘導等を連携して実施する

※避難訓練及び消火訓練は年2回以上、その他の訓練は年1回以上実施する。

5. 令和7年度 事業計画（小原寮）

1. 事業運営基本計画（事業目標）

- (1) 法人理念の具現化と地域から必要とされる社会福祉法人の推進
- (2) 事業の継続と安定に向けた人材育成の強化
- (3) 心理的安全性の高い職場づくりによる高品質な福祉サービスの提供
- (4) 収益の維持・向上を図り適正な施設経営と運営の構築
- (5) 持続可能な事業継続の整備・保守を図る

2. 具体的計画

- (1) 法人理念の具現化と地域から必要とされる社会福祉法人の推進

1) 法人理念の具現化

- ①昭徳会のめざす福祉「利用者・職員・地域に喜ばれる（感謝される、必要とされる、選ばれる）存在（職員・施設・法人）になる」ことを念頭におき、職員一人ひとりが自身のできることを面接シートに掲げ、実行する。
- ②「基本理念」、「基本方針」、「職員行動指針」を全職員が意識して業務を実施するために、朝礼時や会議・委員会の前に唱和を行う。

2) 小原地域における地域共生社会を推進する

- ①開設20周年記念式典と福祉ビレッジ秋まつりの開催に向け、地域住民が多く参加できる仕組みを社会福祉協議会及び家族と共に検討し実施する。
- ②地域の林業関係者等と協働して間伐材を活用したグッズ作成を展開し、地域イベントやマルシェを企画する。薪の販路拡大についても検討していく。
- ③農福連携プロジェクト（以下「PJ」と表記する）を推進するために農福連携技術支援者育成研修（農水省）等に参加し、必要な知識を取得する。
- ④農福連携PJにて利用者が行える作業内容の確立と農機具のレンタルを検討していく、地域に喜ばれる取組を実践していく。
- ⑤地域連携推進会議を開催し、地域との繋がりを深めると共に地域住民のニーズ等を把握し、地域と共に歩んでいく仕組みづくりを検討する。

3) 中山間施設として必要不可欠な施設運営の推進

- ①豊田市自立支援協議会の構成員として、北部ブロック会議に出席し地域課題の共有と解決に向けた取組に参加する。
- ②豊田市障がい者相談支援事業所、豊田市地域生活支援拠点等緊急時受入対応など、業務委託を受けている事業について、仕様書に沿った適切な運営をする。
- ③利用者の地域移行を推進すると共に、高齢利用者の介護保険施設利用に向け検討し、利用者に合ったサービスが受けられるよう推進する。
- ④日常的に地域住民が集える場所としても利用できるよう多目的ホールの整備を検討する。また、災害時に福祉ビレッジを使用できるよう物資・設備の見直しをする。

（2）事業の継続と安定に向けた人材育成の強化

1) 福祉専門職としての価値を高める

- ①外部研修等にて得た知識を、他職員に向けて講師となりアウトプットすることで、発表のスキル向上と知識の習得に努める。研修報告会を含め年6回程度実施する。
- ②全職員（パート職員含む）が研修に参加できるよう年間計画を実施する。
- ③強度行動障害SV（スーパービジョン）を継続し、職員の専門性を高め、福祉サービスの更なる向上を目指すとともに次期福祉実践発表会に向けて事例に取り組む。
- ④委員会毎に関連するオンデマンド受講や資格取得を目標とし、スキルアップを図る。
- ⑤生活支援員の専門性を高めるため、介護助手を導入し業務の差別化を図る。

2) 職員間で助け合える風土を構築する

- ①役職、SL（Ⅲ等級）、Ⅱ等級、パート職員等で構成した会議を開催し、職員間の繋がりを強化する。また、

他フロアを業務体験する機会や交流を深める企画を実施し、助け合える良い関係性の構築を図ることで離職率 5% (4名) 以下の達成に努める。

②中堅職員にサービス管理責任者の資格取得を調整し、業務の分散を図るとともに、育休明け等、勤務業務が困難な職員に多様性のある雇用を展開する。

③特定技能職員・技能実習生が継続して勤務できるよう生活環境の整備、介護技術向上及び日本語学力の向上を図れるようにサポートする。

(3) 心理的安全性の高い職場づくりによる高品質な福祉サービスの提供

1) 職場環境を整備し働きやすい環境と職員満足度の向上を推進する

①休憩時間に職員がリフレッシュできる休憩室の建設と社食サービス、お菓子コンビニ等を導入し快適に寛げる環境を整備する。

②育児・介護休暇や年2回の5連休の取得に向け、職員のライフイベントに合わせた休暇が取得しやすい職場風土と、業務の削減を推進する。

③インカム等のICTを導入し、職員の心理的安全性の高いハードを整備する。

④新規学卒者及び特定技能職員のメンター制度を導入し安心して働ける環境を整備する。

2) 利用者と家族等の満足度を高め職員にやりがいと達成感を感じられる取組を推進する

①利用者・ご家族・職員が交流できる行事やSNS等を活用し、ご家族とコミュニケーションの機会を増やしていく。

②陶芸品やカレンダー等、専門家と協力し、作品の品質向上に努める。また、作業環境を向上させるため、作業場の建設と真空式土練機を設置する。

③意思決定支援について、マニュアルを整備しその取り組みの評価及び見直しを行う。

④行事や委員会・PJ等写真集を作成し、就職希望者や外部へ小原寮の活動を発信する。

(4) 収益の維持・向上を図り適正な施設経営と運営の構築

1) 未来に向けた経営状態の構築

①人員配置体制加算Ⅳ(2.5:1)、口腔ケア加算、栄養ケア加算等の加算を取得し、サービス活動収益7億円以上を目標とする。

②稼働率98%以上を達成するために、待機中の施設入所支援希望者が速やかに利用できるよう、障がい特性に合わせた生活の場を検討する。また、短期入所待機登録者の増加と利用日数増加を促進する。

③先進的な取組や運営をしている事業所の見学を検討する。

④運営基準及び各種加算の算定状況を経営会議にて確認・検証する。

2) 業務のスリム化を図る

①ITスキル向上による業務短縮を目指すため、ムリ・ムラ・ムダを省く。また、書類の保管方法や決裁方法を見直し、電子媒体化できるものは移行する。

②会議資料のペーパーレス化を図るため、大会議室の電気設備整備やタブレットの導入等を検討する。

(5) 持続可能な事業継続の整備・保守を図る

1) 事業継続に必要な管理業務

①運営規程・利用契約書・重要事項説明書・各種マニュアルについて見直しを行う。

②計画的にコンプライアンス関係研修に参加する。

③OSのアップグレードができないパソコンコンピューター(PC)について、台数を精査の後、順次買い替えを行う。

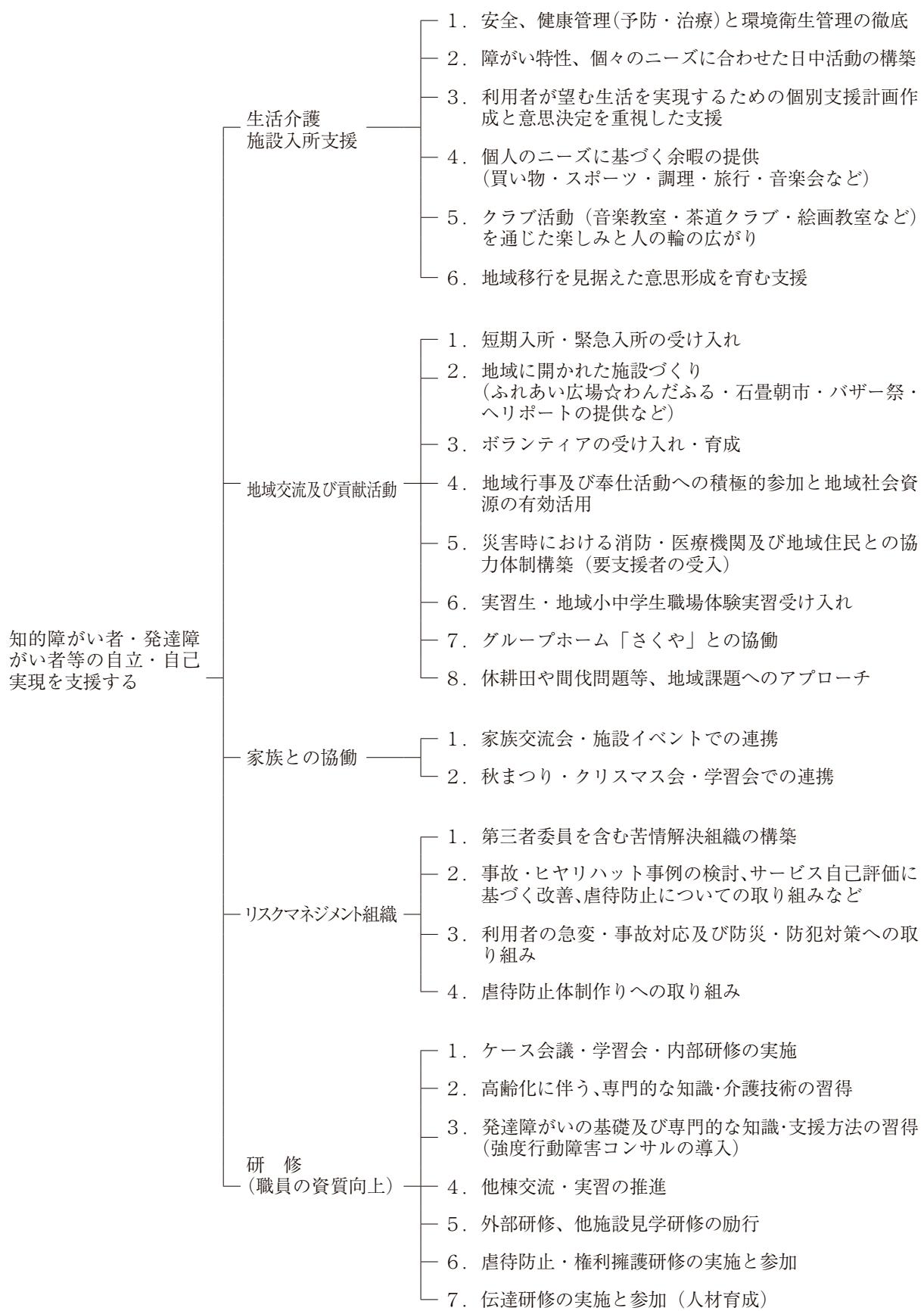
④処遇改善加算の算定期要件を満たしているか定期的な確認を行う。

2) 安全・安心が確保された環境の整備

①事業継続計画BCPについて見直し及び備蓄品の整備を行うと共に、非常用自家発電機の設置に向け補助金申請等を検討していく。

②施設内で破損しているフロアの修繕及びB棟の照明をLEDに変更する等、施設内環境の向上を計画的に進める。

6. 支援体系図



7. 会議・委員会

各種会議		内 容	開 催	構成職員
1	経営会議	(1) 未来に向けた経営状態の構 (2) 理運営のスリム化と理解を深める (3) 運営規定・利用契約書・重要事項説明書・各種マニュアルについての見直しを行う	毎月	・役職者
2	運営会議	(1) 施設長からの連絡事項発信 (2) 各棟の利用者支援や各種会議・委員会からの報告・協議・調整を行う (3) 利用者入退所や諸行事に関する報告・協議・調整を行う (4) エンゲージメントを高めるための職場づくり	毎月	・役職者・栄養士 ・事務員 ・相談支援専門員 ・生活支援員 ・世話人
3	職員会議	(1) 運営・支援方針の議論や周知事項の確認を行う (2) 職員の資質向上に向けて、適時内部研修会を開催する	4・9・3月	全職員
4	フロアユニット支援員会議	(1) フロアユニット・棟の運営方針について協議し決定する (2) 利用者支援の課題について討議する (3) 個別支援計画に則ってケース検討を行う	毎月	・課長 ・GL ・生活支援員
5	給食連絡会議	施設と給食委託業者の連携に関する改善・問題点について検討・協議する	4・8・12月	・次長 ・栄養士 ・委託業者
各種委員会		内 容	開 催	構成職員
1	地域移行検討委員会	(1) 個別支援計画書・サービス向上・権利擁護・虐待防止に関する諸問題について協議・発信する (2) 地域・行政の最新の情報を収集し、個別支援計画書作成に反映する (3) サービス等利用計画から個別支援計画への支援の流れを確認する (4) 地域移行に向けた意思決定支援・意思形成支援の確立	奇数月	・サービス管理責任者 ・相談支援専門員
2	防災・防犯対策委員会	(1) 災害・防犯対策について計画・実施し、問題点・改善策を提案する (2) 非常連絡網を設定し、訓練を実施する (3) 救急蘇生法講習について計画・実施する (4) 災害・防犯用品を備蓄・把握する	4・6・9 12・3月	・次長 ・GL ・事務員 ・生活支援員
3	虐待防止身体拘束適正化検討苦情解決委員会	(1) 虐待防止に係る啓発活動 (2) 職員アンケート調査の実施と改善への取り組み (3) 身体拘束の適正化(解除)を図り、検討 (4) 研修立案と実施 (5) 苦情解決に係る対応サービス評価の実施 (6) サービス評価の実施	毎月 (苦情解決委員会偶数月のみ)	・役職者
4	人材育成委員会	(1) 福祉専門職としての価値を高める (2) 職員間での助け合える風土を構築する	毎月	・GL(事務員) ・生活支援員 ・世話人
5	満足度向上委員会	(1) 職場環境を整備し働きやすい環境と職員満足度の向上を推進する (2) 利用者と家族の満足度を高め、職員にやりがいと達成感を感じられる取組を推進する	毎月	・次長 ・GL ・栄養士 ・生活支援員
6	広報委員会	(1) 利用者の生活の様子を保護者に発信する (2) 小原寮での活動や魅力を外部の方向けに発信する	毎月	・課長 ・生活支援員 ・事務員
7	農福連携推進PJ 間伐材活用PJ	(1) 地域交流を活性化、充実化し、地域共生社会を推進する (2) ボランティアの発掘に努め、協力体制の構築を検討する (3) 地域課題の共有と解決に向けた取組に参加する	毎月	・次長 ・課長 ・GL ・事務員 ・生活支援員
8	衛生委員会 (感染予防対策)	(1) 利用者及び職員の健康管理を行う (2) 感染症予防対策の取り組みを行う (3) 職員への衛生教育の計画及び研修会の実施を行う (4) 医療機器の取り扱い管理を行う	毎月	・看護員 ・栄養士 ・生活支援員 ・世話人
9	給食委員会	(1) 納食提供への問題・課題を検討する (2) 嗜好調査の実施とそれに基づいたメニューを提供する (3) 季節食・行事食について協議し提供する	奇数月	・栄養士 ・看護員 ・生活支援員 ・世話人
10	国際雇用 推進支援委員会	(1) 技能実習生・特定技能生の受け入れ体制を整える (2) 外国人に対して助け合える風土を構築する (3) 日本語学習の推進	毎月	・次長 ・GL ・看護員 ・栄養士 ・生活支援員

8. 利用者の状況

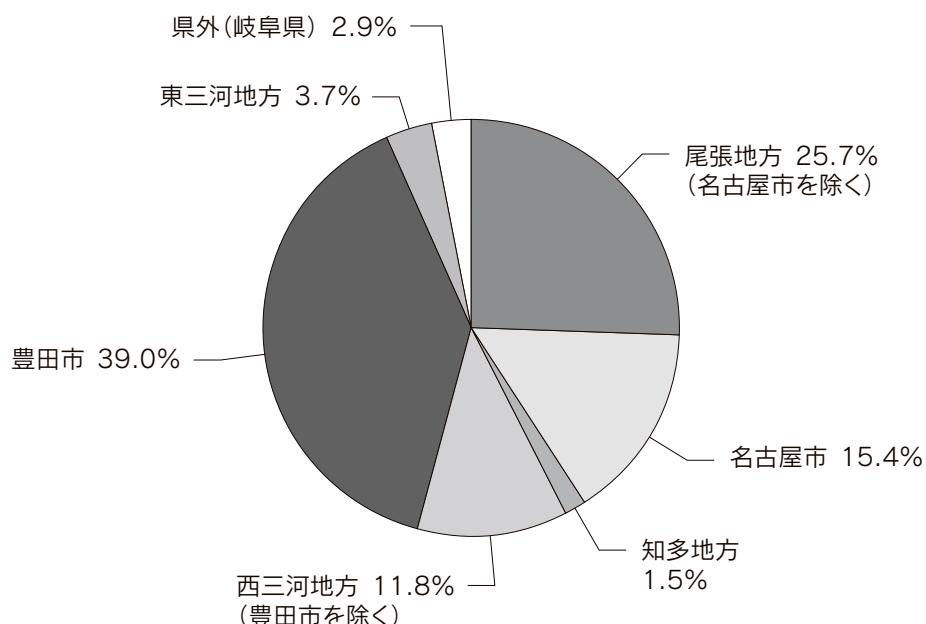
(1) 地域別利用者状況

地域	市町村	人数	合計
尾張	あま市	2	35
	一宮市	4	
	稲沢市	2	
	岩倉市	1	
	江南市	3	
	春日井市	4	
	小牧市	1	
	瀬戸市	4	
	大治町	1	
	大口町	1	
	津島市	3	
	東郷町	1	
	日進市		
	豊明市	7	
	北名古屋市	1	
	尾張 名古屋市	21	
	名古屋市	21	21

令和7年4月1日現在 (単位:人)

地域	市町村	人数	合計
知多	大府市	1	2
	知多市	1	
	みよし市	5	
	岡崎市	9	
西三河	西尾市	1	16
	碧南市	1	
	豊田市	53	
	蒲郡市	1	
東三河	新城市	1	5
	設楽町	1	
	豊橋市	2	
	岐阜市	2	
県外	石川県	2	4
	合 計	136	136

地域別利用者状況



利用者の状況は地元、豊田市の利用者が53名で全体の約39%、名古屋市の利用者が21名で全体の15%を占めている。

その他は広域に亘っており、尾張地方（名古屋市を除く）の15市が35名で全体の約25%、西三河地方（豊田市を除く）の4市が16名で全体の約11%を占めている。東三河地方の4市、知多地方の2市と続いている。このことは昨年度と比べても大きく変動はない。

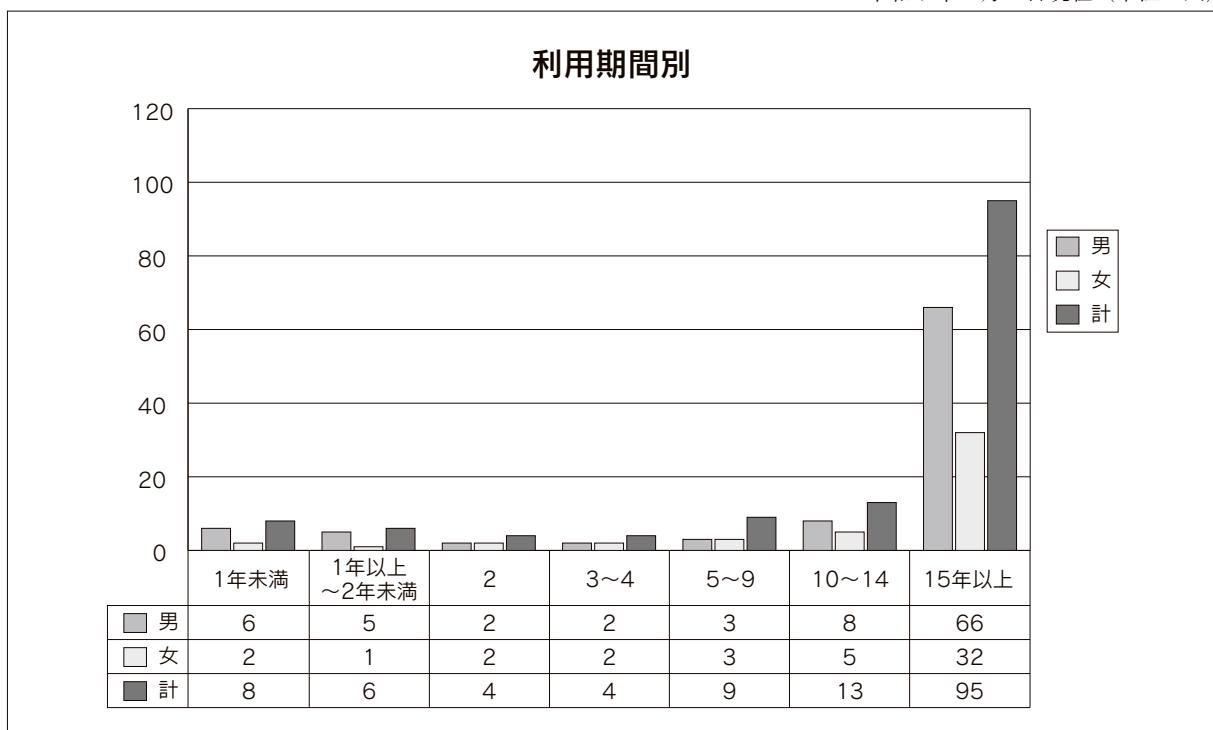
(2) 利用者の入退所状況

平成 28～令和 6 年度（単位：人）

区分 年度	入所			退所（死亡、施設移行等）				計	
	男	女	計	男		女			
				死亡	施設 移行等	死亡	施設 移行等		
平成 28 年	1	2	3	0	0	0	0	0	
平成 29 年	1	1	2	0	0	1	0	1	
平成 30 年	0	0	0	1	1	1	1	4	
令和元年	1	0	1	1	0	0	1	2	
令和 2 年	0	0	0	0	1	0	0	1	
令和 3 年	3	2	5	0	0	1	1	2	
令和 4 年	3	2	5	1	1	0	0	2	
令和 5 年	5	0	5	2	1	2	2	7	
令和 6 年	6	3	9	3	2	1	1	7	

・施設移行等の退所は、主に高齢化に伴う介護保険施設への移行

令和 7 年 4 月 1 日現在（単位：人）



～入退所の状況～

引き続き高齢化問題が進んでいる。介護保険適用施設への移行を想定した場合、要介護認定を受けたとしても、受け皿が少ないことが課題である。

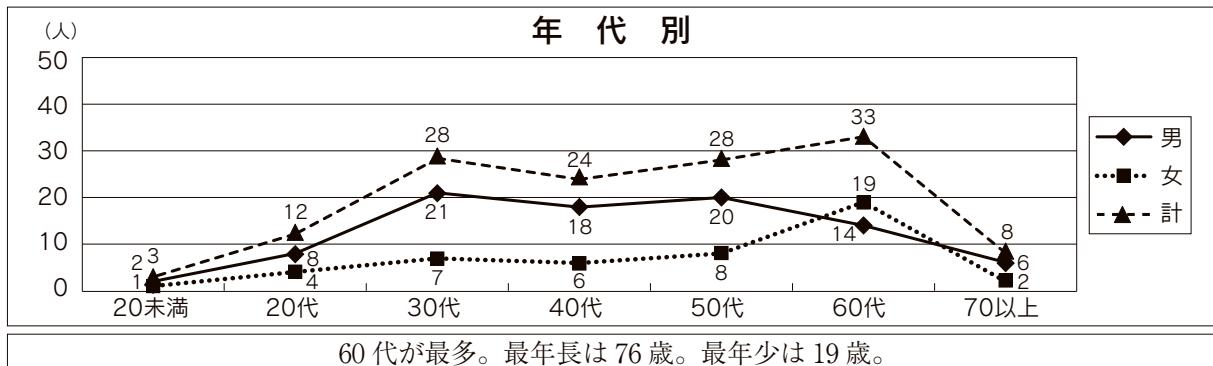
令和 6 年度は男性利用者 2 名、女性利用者 1 名が高齢者施設へ移られた。今後も高齢者施設等への移行は進めいかなければならない状況である。また、令和 6 年度は男性利用者 6 名、女性利用者 3 名が新規で入所された。高齢化に対する他施設への移行に伴い、新規利用者の受け入れも並行して進めいかなければならない状況である。

(3) 年齢別状況

令和7年4月1日現在 (単位:人)

区分	20歳未満	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70以上	計	平均年齢(歳)	フロア平均
A棟	男			2	1	1		1	1	2		4	12	43.8	52.8
	女	1	1		1		1		4	2	1	11	62.7		
B棟	男				1	1	1	3	1	2	1	10	62.5	56.1	
	女				3		2	3	1	4		13	51.2		
C棟	男	1		1	1			2	2	1	2	2	12	54.3	56.3
	女				1			2	2	4	2	1	12	58.4	
1階	男	1		1	1			2	2	1	2		2	12	41.1
	女				1			2	2	4	2	1	12	58.4	
2階	男	1	1		2	1	2	1	1			2		11	41.1
	女	2	1	2		2	1			2	1		11	38.1	
3階	男		3	2	4	3	1	3	3	3	2		24	46.9	46.9
	女											0			
4階	男	1	2	1	6	1	5	2	2				20	37.8	37.8
	女											0			
計		3	5	7	10	18	10	14	17	11	25	8	8	136	

平均年齢(歳)	
男子平均	46.8
女子平均	52.7
男女平均	48.8



(4) 障がい支援区分別状況

令和7年4月1日現在 (単位:人)

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均	フロア平均
A棟	男			1	8	3	12	5.2	5.0
	女			4	4	3	11	4.9	
B棟	男			1	6	3	10	5.2	5.0
	女			4	6	3	13	4.9	
C棟	男				2	10	12	5.8	5.7
	女			1	3	8	12	5.6	
1階	男				3	8	11	5.7	5.7
	女			1	1	9	11	5.7	
2階	男				6	18	24	5.8	5.8
	女			1	2	17	20	5.8	
計	0	0	0	13	41	82	136		

平均区分	
男子平均	5.6
女子平均	5.3
男女平均	5.5

(5) 重複障がい状況

令和7年4月1日現在 (単位:人)

区分	発達障がい		身体障がい		精神障がい		計
A棟	1階	男	0	2	0	0	2
	1階	女	1	1	0	0	2
	2階	男	2		1		3
	2階	女	2	2	0		4
B棟	1階	男	1	4	0	0	5
	1階	女	1	4	0	0	5
	2階	男	2	2	0	0	4
	2階	女	8	2	0		10
C棟	1階	男	15	1	0	0	16
	1階	女	0		0	0	0
	2階	男	16	1	0	0	17
	2階	女	0		0	0	0
計			48	19	1		68

9. フロアユニット・棟の紹介

ア A棟 1階

(1) 事業内容

知的障がいを持つ男性利用者 12 名、女性利用者 11 名が生活している。昨年度は石川県能登半島地震で被災された施設から、男性 2 名が入所した。簡単な言語でのコミュニケーションが取れ、日常生活の自立がある程度できている利用者もいるが、高齢化・重度化が進み、障がいの程度も多岐にわたっている。日中活動では、各作業班（農耕班、軽作業班、陶芸班、健康リハビリ班）に分かれてそれぞれ個々に合った作業を行っている。余暇活動では、喫茶・調理実習を中心に活動し、季節行事、茶道クラブ、音楽教室にも積極的に参加している。高齢化が進み、生活習慣病やその他の疾病、および転倒による怪我が増加している一方で、日中の空き時間を利用して、刺繡活動等の創作活動や若い利用者との交流も行われ、明るく活発な生活空間となっている。

(2) 日課（生活介護：9:00～17:00 施設入所支援：17:00～9:00）

起床	朝食 (口腔ケア)	朝礼 掃除	散歩・刺繡づくり テレビ観賞など	昼食 (口腔ケア)	各自個別活動 塗り絵など	日中活動
7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
14:00						15:00
15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
余暇活動 または入浴		夕食 (口腔ケア)	自由時間 パズル・テレビ観賞 塗り絵など		就寝準備・就寝・消灯	22:00
16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00

(3) 重点的支援

比較的、言語でのコミュニケーションが可能な利用者が多いので、ひとりひとりの意向を大切にし、様々な場面で選択ができるような支援を心掛けている。

日中の活動については、利用者それぞれの特性や意向を確認しながら、各自に合った活動を行っている。配属先では、利用者が興味を持って取り組める作業や工程に従事し、自主製品として製作された作品や商品は、外部への販売や作品展への出品を行い、利用者にとっての励みとなっている。

生活面においては、居室の清掃や整理整頓、食事前の準備など、それぞれの利用者が得意とする活動を行い、職員と共に四季折々の装飾を施しながら、利用者の好みに合わせた空間を作り出している。

高齢化が進む中、今後は設備の改善や食事面でのケアが課題となっている。また、命に関わる重篤な疾病を抱える利用者が増加しており、医療面での連携がますます必要となっている。



イ A棟2階

(1) 事業内容

知的障がいと身体障がい・精神障がいを重複している方も含めて、男性利用者11名、女性利用者13名が生活している。ほとんどの方は身辺面で自立しており、言葉でのコミュニケーションが可能な方たちのユニットとなっている。日中は1階の利用者と共に、陶芸班、軽作業班、農耕班、健康リハビリ班に分かれて活動に取り組んでいる。生活面では、定期的に居室の掃除や衣類整理を行い、担当職員と相談しながら部屋の模様替えや余暇時間で作ったパズルや絵を飾る等、ひとりひとりの個性が活かされた空間で生活している。

(2) 日課（生活介護：9:00～17:00 施設入所支援：17:00～9:00）

起床	朝食 (口腔ケア)	掃除	整容・散歩など	昼食 (口腔ケア)	日中活動
7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
					13:00
					14:00
					15:00
おやつ	入浴		夕食 (口腔ケア)	自由時間	就寝準備・就寝・消灯
15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
					21:00
					22:00
					23:00

(3) 重点的支援

A棟2階では本人の気持ちに寄り添った支援を重視している。A棟2階の利用者は、言葉でのコミュニケーションは取りやすいものの、言いたいことが上手に表現できない時がある。特に感情を相手に伝えることは困難で、理解してもらえないことにストレスを抱えている。職員は「どんなことが好きなのか?」「どんなことが嫌いなのか?」など日々の生活の様子から読み取り、信頼関係を構築しながら本人理解を深め、安心して生活していただけるように支援している。余暇活動では、夏は岐阜県関市洞戸の法音寺信行道場で1泊2日でキャンプを行い、花火やバーベキュー、冬はマイクロバスで豊田市内のイルミネーションを見て楽しんでいる。担当職員による個別余暇外出では、喫茶店や買い物に行き、利用者の好きなものを飲食したり、好きなものを購入して有意義な時間を過ごし、フロア内では、誕生日をひとりひとりのニーズに合わせてお祝いをしている。A棟2階の今後の課題は地域との繋がりをより深めるために、地域資源の活用や地域住民との交流にも積極的に参加し、生活の質を向上させていくことが求められる。



ウ B棟1階

(1) 事業内容

知的障がいに加え、概ね身体障がいを抱えた男性利用者10名、女性利用者12名が生活している。車椅子・歩行器を使用されている方や全盲を含む視覚障がい、片麻痺の方など様々な障がいを抱え、食事・入浴・排泄等、どの生活場面にも介助が必要なフロアユニットとなっている。言葉による意思疎通が困難な利用者も多いため、利用者との関わりやコミュニケーションを大切にし、普段の生活の様子からニーズ（本人の表情や反応から）を汲み取り、日常生活や余暇活動に反映している。また、利用者の高齢化に伴い、体力・免疫力の低下による健康状態の悪化も見られ、医療的ケアの充実も課題となっている。

(2) 日課（生活介護：9:00～17:00 施設入所支援：17:00～9:00）

起床 (治療)	朝食 (口腔ケア)	朝礼	日中活動	昼食 (口腔ケア)	日中活動 入浴
7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
おやつ	入浴		夕食 (口腔ケア)	衛生ケア 就寝準備	就寝・消灯

15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00

(3) 重点的支援

平均障がい支援区分5.7、平均年齢55歳と重度フロアではあるが、利用者ひとりひとりの「できること」を尊重し、重度化する中でも個々のスキルに適した支援を見直し取り組むことで、新たな視点から利用者の可能性を見出している。また、利用者主体の個を大切にし、寄り添った支援を目標に各利用者の生活リズムに合わせて、起床時間や就寝時間を変更し、食事の時間も食べたい時に食べたい場所で食べられるよう幅を設けて対応している。キャンプやレストランへの余暇外出にも出かけ、その他にも、言葉でのコミュニケーションが難しい分、利用者の日常的な表情や行動の中から嗜好品をアセスメントし、好きなものに囲まれた楽しく充実した毎日を送れるよう考え方支援してきた。重度・高齢化していく中でも毎日を充実させられるような取り組みを今後も実施し、新たなB棟1階のビジョンを構築していきたい。



工 B棟2階

(1) 事業内容

知的障がいを抱えた男性利用者 11 名、女性利用者 11 名を中心に、精神障がいのある方、発達障がい、ダウン症や自閉症の方、強度行動障がいなどの障がいを抱えた利用者が生活しており、食事・入浴・排泄等の日常生活において支援を必要としている。その支援に必要な利用者特性をアセスメントし、楽しく落ち着いた生活を送ることを目指している。また、日課や業務内容を見直し、落ち着いて生活ができるフロア環境や余暇活動に繋げている。

(2) 日課（生活介護：9:00～17:00 施設入所支援：17:00～9:00）

起床 食事準備	朝食	口腔ケア 清掃	衛生ケア 食事準備	昼食	口腔 ケア 清掃	入浴	
7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00 13:30	
15:00	17:00			17:45	19:00	19:30 20:00 20:30	
入浴 おやつ		食事準備		夕食	口腔 ケア 清掃	就寝 準備	給茶 消灯

(3) 重点的支援

上記にもあるように B 棟 2 階では発達障がい、自閉症等様々な特性を持った利用者が生活している。利用者が混乱する様子がないように各利用者のニーズに沿った支援（利用者が理解できるスケジュールの提示方法、支援の提供のタイミング等）を職員間で統一した支援を提供するようにしている。

令和 6 年 3 月に、女性ユニットで多数の利用者の異動があり、当初は利用者のみならず、職員にも混乱が見られたが、アセスメントを通じて利用者一人一人の特性を把握し、ニーズに沿った支援を提供することで徐々に落ち着いた生活が送れるようになった。

今後の課題として、利用者の高齢化による ADL の低下や様々な特性を持った利用者が生活できるためのフロア環境の整備が急務と思われる。



オ C棟1階

(1) 事業内容

男性利用者24名の知的障がいを伴う自閉症・発達障がいの方が生活している。Aユニット男性9名、Bユニット男性8名、Cユニット男性7名からなり、利用者の特性上、他棟よりもユニットの人数が少なく設定されている。また、強度行動障がい等により、環境調整などの配慮が必要な方もいる。日課はユニットごとに組み立てており、日中活動は、自立課題を使って自分1人で活動できることを目的とした自立課題班と、散歩など体を動かすを中心とした健康リハビリ班の2つに分かれて活動している。ひとりひとりの障がい特性に合わせて、見通しがもてるよう工夫し、日々の生活だけでなく、余暇活動や様々な行事、避難訓練等の変化にも適応できるように支援している。さらに高齢化に伴い、嚥下や身体機能の低下への対策に取り組んでいる。

(2) 日課（生活介護：9:00～17:00 施設入所支援：17:00～9:00）

起床	朝食・口腔ケア		日中活動 (自立課題・散歩)		昼食・口腔ケア			
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
日中活動 入浴			夕食・口腔ケア			自由時間 (就寝前服薬)	就寝・消灯	
14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00

(3) 重点的支援

各ユニットごとに、利用者の特性や能力に合わせた目標設定を行っている。外出や行事の充実をはじめ、施設外での余暇を充実できるように企画している。模擬コンビニ等のユニット内企画も活用し、個別の楽しみを増やす他、意思決定支援等を拡充している。また、日中活動では、健康リハビリ班と自立課題班の2つに分かれ、個々にあった新たな課題を提供するなど、利用者の日々の様子をアセスメントし、工夫をおこなっている。利用者の年齢層は、20代から60代までと幅広い。加齢による嚥下や体力の低下が見られる利用者もいる。その上で、感染症に罹患することでADLの低下がさらに進行する場合もある。集団生活の中で、感染症対策を行う等細心の注意が必要である。また20代～30代の若い利用者に対しては、強度行動障がい等へのアプローチを行っており、日課や生活を個別により細分化し、それぞれの個性にあった日課や余暇活動の提供をしている。様々な背景を持つ利用者に対して、個別の支援を集団の中で形成していくことが、重点的に求められている。



力 C棟2階

(1) 事業内容

男性利用者20名の知的障がいを伴う自閉症・発達障がいの方が生活している。3ユニット編成で、利用者の特性上、他棟よりもユニットの人数が少なく設定されており、障がいに応じて環境調整などの配慮が必要な利用者もいる。日中活動は各個人の特性に合わせ、作業を通じて自立した活動を目指す自立課題班と、散歩など体を動かすことを中心とした健康リハビリ班の2つに分かれて活動している。イラスト等で視覚的な情報を掲示することで、見通しを持てるよう工夫し、安心して日々の生活を送っていただけるようにしている。また余暇活動や様々な行事、避難訓練等にも参加できるように支援している。

(2) 日課（生活介護：9:00～17:00 施設入所支援：17:00～9:00）

起床	朝食・口腔ケア		日中活動 (自立課題・散歩)		昼食・口腔ケア	
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
入浴・衛生ケア おやつ		夕食・口腔ケア		自由時間 (就寝前服薬)		就寝・消灯
14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
21:00						22:00

(3) 重点的支援

個々のニーズに合わせた個別支援を基本にしている。各ユニットの日課については、スケジュールボードに予定していることと担当する職員の写真を提示して、利用者が視覚的に理解しやすいようにしている。

全体行事では、夏は岐阜県関市洞戸の法音寺信行道場で1泊2日でキャンプを行い、秋は小原ビレッジの敷地内でキッチンカーが多数出店し、美味しいものを飲食して楽しい時間を過ごしている。余暇活動では、茶道クラブ、音楽教室があり穏やかでゆとりのある精神を育む取り組みをしている。ユニット内余暇では、週に1回、たこ焼きやクリームソーダを楽しく食べるたこ焼き余暇を行っている。



10. 健康管理

(1) 年間実施項目

月	月間目標	医療実施	月	月間目標	医療実施
4月	・春の花粉症対策	・新人研修 ・帰省前後の健康チェック ・訪問歯科	10月	・衣替え	・デンタル学園実習 ・寝具、衣類の調整 ・訪問歯科
5月	・害虫駆除	・血圧・脈拍測定 ・検尿（職員・利用者） ・害虫駆除（バルサン） ・特定健康診断（職員）	11月	・インフルエンザ予防 ・ノロウイルス予防	・健康診断（職員・利用者） ・生活習慣病健診（職員） ・冬期感染症についての勉強会 ・インフルエンザ予防接種
6月	・食中毒対策 ・水虫対策 ・衣替え ・熱中症の予防	・検便（職員・利用者） 1・2週目（月・火・水） ・寝具、衣類の調整 ・訪問歯科	12月		・ノログッズの配布 ・訪問歯科 ・帰省前後の健康チェック ・年末大掃除 ・訪問歯科
7月	・体力の保持増進	・熱中症の勉強会 ・訪問歯科	1月		
8月		・帰省前後の健康チェック ・訪問歯科	2月	・春の花粉症対策	・訪問歯科 ・訪問歯科
9月	・秋の花粉症対策	・デンタル学園実習 ・訪問歯科	3月		

*毎日、体温測定を実施 毎月、体重測定を実施
*通年、感染症対策（換気・手指の手洗い、消毒）

(2) 入院状況

令和6年度実績（単位：人）

年度	科目 人数	内	神	外	整	精	脳	婦	耳	眼	泌	皮	歯	計
		神経科	内科	外科	形外科	精神科	外科	人科	鼻科	科	尿器科	膚科	科	
令和5年度	人	15	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	17
	日数	960	0	0	56	0	0	0	0	0	23	0	0	1039
令和6年度	人	13	1	1	2	0	0	0	0	0	3	0	1	21
	日数	396	97	37	70	0	0	0	0	0	16	0	3	619

(3) 通院状況

令和6年度実績（単位：人）

月	科 目 人 数	内 科	外 科	整 形 外 科	神 精 経 神 内 科 科	脳 外 科	婦 人 科	耳 鼻 科	眼 科	泌 尿 器 科	皮 膚 科	歯 科	計
4月	実	49	3	1	63	0	0	5	0	1	4	25	151
	延	50	4	1	63	0	0	5	0	1	4	30	158
5月	実	43	2	1	62	0	0	11	0	1	10	31	161
	延	43	2	1	62	0	0	11	0	1	12	33	165
6月	実	45	2	7	62	0	0	10	0	2	6	25	159
	延	48	2	9	63	0	0	11	0	2	6	28	169
7月	実	44	2	1	62	0	0	9	1	2	5	27	153
	延	50	2	1	62	0	0	9	2	2	5	30	163
8月	実	46	2	2	62	0	0	6	1	1	4	24	148
	延	46	3	4	62	0	0	6	1	1	6	24	153
9月	実	40	2	3	62	0	0	5	1	2	10	23	148
	延	40	2	4	62	0	0	5	1	2	10	24	150
10月	実	46	2	2	63	0	0	4	0	2	3	22	144
	延	47	2	2	63	0	0	5	0	2	3	24	148
11月	実	48	3	2	62	0	0	4	0	2	7	20	148
	延	49	4	9	62	0	0	5	0	2	7	20	158
12月	実	42	2	6	62	1	0	5	0	2	7	15	142
	延	43	2	10	62	1	0	6	0	3	8	18	153
1月	実	46	3	3	63	0	1	3	1	2	2	26	150
	延	49	3	4	63	0	2	4	1	2	2	31	161
2月	実	42	2	1	62	0	0	7	0	2	5	21	142
	延	42	2	1	62	0	0	7	0	3	5	24	146
3月	実	44	5	7	63	0	0	4	0	2	4	23	152
	延	46	6	7	63	0	0	4	0	2	4	23	155
合計	実	535	30	36	748	1	1	73	4	21	67	282	1,798
	延	553	34	53	749	1	2	78	5	23	72	309	1,879

1. 利用者健康状況

令和6年度は、利用者の入院者数が21人と、ここ数年で一番多い状況である。疾患の原因としては高齢によるものが多く誤嚥性肺炎・肺炎・尿路感染症・排便障害・低ナトリウム血症・低血糖であった。体力、抵抗力ともに低下していることから回復も遅く入院中に急変して亡くなられた方もあった。また回復できず小康状態から慢性化し、帰寮出来ず他施設へ移った方もいた。コロナ禍が長く続き、行動範囲が狭くなり高齢の利用者の筋力低下を加速させたことは間違いないと感じた1年であった。

2. 令和6年度 小原寮における入院利用者動態

年齢	性別	病名	月	入院期間
60歳	男	気胸	4月	3日間
61歳	男	肺炎・イレウス	4月	10日間
62歳	男	不安定症	4月	31日間
41歳	男	不安定症	4月	39日間
60歳	男	肺炎	4月	26日間
33歳	男	虫歯による抜歯 下腿部皮膚化膿炎	5月 7月	3日間 37日間
77歳	男	低血糖・低ナトリウム血症	6月	68日間
55歳	女	副腎不全	7月 R 7／2月	12日間 10日間
58歳	男	誤嚥性肺炎	8月	70日間
70歳	男	てんかん・誤嚥性肺炎	8月 10月	57日間 1日間
53歳	女	重積発作	8月	7日間
54歳	男	低ナトリウム血症	9月	16日間
28歳	男	右臀部膿瘍	9月	97日間
64歳	男	尿路感染症	10月	8日間
74歳	女	結石性腎孟腎炎	10月	31日間
64歳	女	尿路感染症	R 7／1月	8日間
68歳	女	十二指腸ポリープ・てんかん発作	2月	40日間
70歳	男	前立腺炎	3月	26日間
64歳	女	左大腿骨頸部骨折	4月	18日間

11. 給食関係

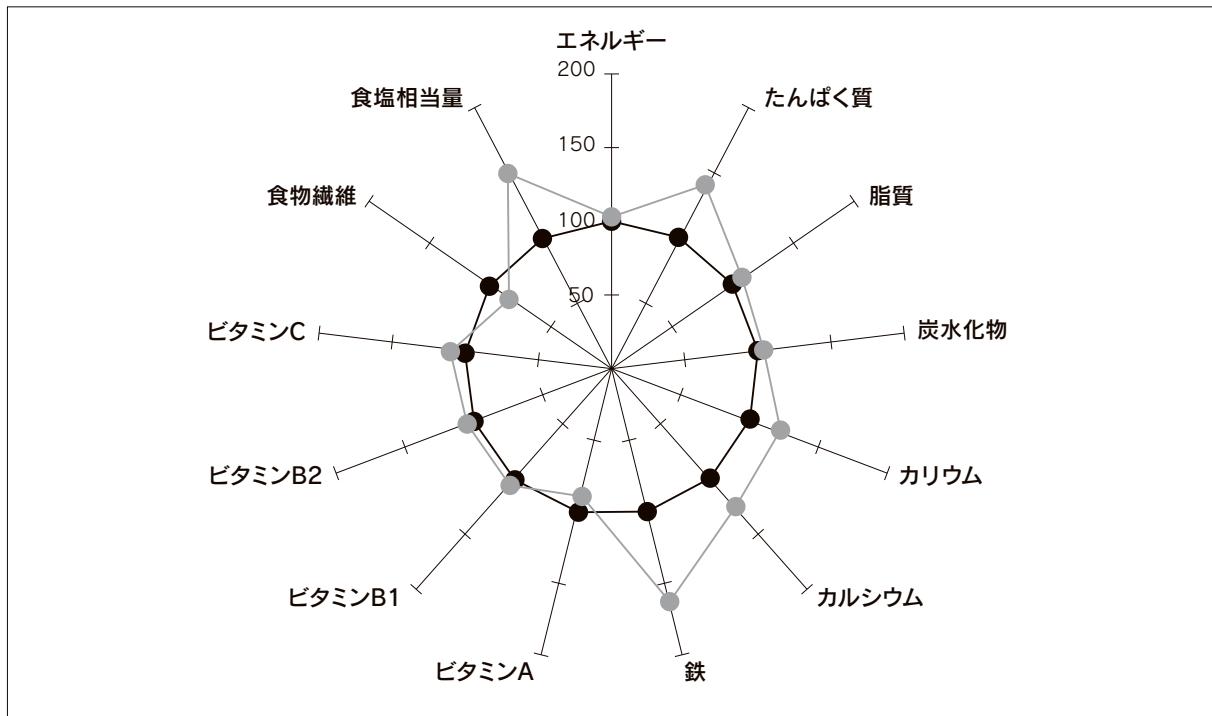
(1) 栄養摂取量

令和6年度実績

区分	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	カリウム	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
単位	kcal	g	g	g	mg	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	g
4月	2,183	79.2	60.5	323.0	2723	769	11.8	674	1.28	1.38	111	17.7	10.3
5月	2,225	79.6	62.9	329.0	2695	757	11.5	707	1.28	1.35	115	17.9	10.7
6月	2,247	82.0	64.8	326.0	2743	786	11.7	723	1.32	1.40	115	17.7	10.2
7月	2,273	84.7	66.0	325.7	2960	899	11.7	777	1.42	1.54	123	17.6	10.4
8月	2,319	84.8	68.1	334.0	2832	943	11.5	687	1.36	1.56	105	16.9	10.7
9月	2,295	84.5	66.9	330.1	2940	915	11.9	754	1.32	1.57	112	17.3	10.5
10月	2,282	84.6	65.9	329.1	2793	961	11.5	773	1.34	1.57	101	16.9	10.8
11月	2,294	82.1	68.3	329.3	2861	969	11.8	793	1.33	1.55	107	17.0	10.9
12月	2,303	84.8	67.5	331.0	2863	970	11.5	755	1.38	1.54	113	17.1	11.0
1月	2,248	83.2	63.6	327.8	2784	980	11.5	769	1.25	1.52	104	17.5	10.6
2月	2,272	83.3	66.5	332.4	2876	943	11.3	696	1.22	1.50	112	17.0	10.9
3月	2,300	82.0	67.6	332.7	2801	915	11.4	663	1.34	1.49	100	16.5	10.5
平均	2,270	82.9	65.7	329.2	2823	901	11.6	731	1.32	1.50	110	17.3	10.6
基準量	2,194	59.3	61.0	317.2	2320	716	7.1	821	1.26	1.42	100	20.5	7.1

エネルギー・たんぱく質・脂質・炭水化物・カリウム・カルシウム・鉄・ビタミンB1・食物繊維・食塩相当量の平均摂取量は必要基準量を上回っている。ビタミンA・ビタミンB2は必要基準量以下だが、ほぼ100%近く充足している。

(2) 栄養摂取量比率



注) 基準量を100とする

小原寮 イベント食

今年度は、ケーキ提供2回、お好み焼き作り、地域のお弁当提供、すしまつりを実施。

春と冬にチョコレートケーキを購入し食べた。



年に3回お好み焼き作りを実施しユニットごとにホットプレートで焼いて食べた。



嗜好調査で人気のあつたお寿司を提供した。



12. 令和6年度の利用者の主な取り組み

目的

個別支援計画…「ひとりひとりを大切に」を基本理念として、利用者のニーズを汲み取り個別支援をしていく。

社会生活支援…健康で明るい生きがいある生活が営まれるように、活動を通してQOL(生活の質)の向上を図る。

地域生活支援…地域の社会資源の活用・ボランティアの活用・協力を得て、地域交流・地域生活移行を支援する。

(1) 生活介護（日中活動）

ア 農耕班

農耕班には、10名の利用者が所属している。専門の方から作業のアドバイスを受けながら、春から肥料の新しいやり方や工夫を行い、夏にかけて上等な野菜を収穫することができている。土作り、種植え、収穫、販売に至る全ての工程で利用者に関わってもらい、協力して野菜作りをしている。収穫した野菜は、施設内やイベントなどで販売している。農閑期には落ち葉集めを行い、土と混ぜて堆肥づくりを行っている。悪天候時には室内作業を行っており、年間を通して作業提供することで作業意欲の向上につなげている。

イ 陶芸班

陶芸班は、主に日常使いのコーヒーカップやお皿を作成している。現在は、9名の利用者が所属している。

成形し、絵を描き、素焼きし、色を付け、釉薬をかけ本焼きと販売に至るまで様々な工程があるが、利用者ひとりひとりの得意なこと、好きなことに合わせて取り組んでいる。週に1回陶芸の講師に来ていただき、ご指導いただいている。利用者は、新しい事にも挑戦してこれまでと違う作風の作品を作ることができている。また、今年度は他施設とのコラボ商品も手掛けることができた。物を作ることは、利用者にとって生活に潤い、活性化を促している。高齢化が進んでいるが、できる限り長く活動を続けて、より良い作品を多く作ってもらいたい。

ウ 軽作業班

主に平日の午後、生活しているユニットから出て軽作業班専用の作業棟へ移動し、利用者13名で活動を実施している。活動内容は、「パズル」「碁石の色分け」「トランプの柄合わせ」「洗濯バサミとカードのマッチング」等、多岐にわたりそれぞれの利用者のスキルに応じた活動を提供している。定期的なアセスメントや教材の見直しを実施し、利用者ひとりひとりが少しでも楽しい時間が過ごせるような工夫をしている。決まった曜日と時間に作業を行うことで、集中して取り組むことができ、心の安定が得られている。

エ 自立課題班

発達障がいの利用者が多く在籍しているため、「課題の提示方法」「次に何をするか」「楽し

みながら取り組めること」などを、それぞれの利用者に適した形で工夫しながら実施している。課題に対して先を見通せるようにすることで、自立へつながるきっかけを育むことを目指して支援を展開している。

オ 健康リハビリ班

健康リハビリ班は、障がい特性や歩行状況に応じて、利用者が安心して活動に参加できるよう、各フロアで丁寧に活動を行っている。高齢化が進む状況を考慮し、身体機能の低下を防ぐ取り組みが一層求められている。そのため、福祉ビル内での散歩を中心に活動を実施しているが、近年の夏季における気温上昇により、熱中症への配慮が重要となってきている。

屋内外での活動を通じて、利用者が安全で快適に過ごせるよう、健康管理を徹底し、水分補給を欠かさないようにしている。また、それぞれの体調や状況に応じて柔軟な対応を心がけることで、無理なく活動を楽しむ環境を整えている。このような取り組みによって、利用者の身体機能の維持向上を図り、より充実した日々を送れるよう努めている。

日中活動別等売上状況

令和6年度実績（単位：円）

	農福	間伐	スウェーデン 刺繡	地域販売 (ゲーム)	地域販売 (バザー)	カレンダー	農耕班	陶芸班	請負作業 (さくや)	その他	合計
4月			20,300	740	650						21,690
5月		15,650	7,100	1,120	4,160			6,800	10,956		45,786
6月		1,340	15,256		2,800		200	21,642		60,000	101,238
7月				120	190		200		16,434		16,944
8月		2,200	16,500					4,800	16,434		39,934
9月			3,200	240	210		550	6,200	10,956		21,356
10月		5,170	29,000	1,010	500	16,500	4,100	12,600	10,956		79,836
11月			11,500	540	830	34,500	3,470	7,500	10,956		69,296
12月	28,500		700	160		73,500		3,100	10,956		116,916
1月	69,500		8,800			38,500		18,600	16,434		151,834
2月	15,500	5,560	9,000	730	640	500	900	6,200	5,478		44,508
3月	8,000			690	4,340	100,000		10,225	16,434		139,689
合計	121,500	29,920	121,356	5,350	14,320	263,500	9,420	97,667	125,994	60,000	849,027

・地域販売は豊田市藤岡地区「石畳ふれあい朝市」でのフリーマーケットを中心に地域での行事出店

・請負作業はグループホームさくや屋外清掃業務委託（ふじのさと）等

・その他は法音寺紙袋の絵画料金

(2) クラブ活動

ア 茶道クラブ

講師の先生方をお招きし、年間8回、茶道クラブを開催している。畠で本格的にお稽古をするだけでなく、テーブル席でも茶道を楽しむれる利用者も多いため、畠同様のお稽古をすることができる。

先生は午前中のみの参加となっているが、先生に会いたいという利用者が多くいるため、今年度は午後から参加していただけるように依頼し、より多くの利用者が先生と一緒に楽しくお稽古に参加した。令和7年度は1日を通して先生方に参加していただけるように依頼し、より多くの利用者が賑やかに参加できるようにしていく。



イ 音楽教室

令和6年度も引き続き、月2回、地域の先生に来ていただき実施した。2グループに分かれて利用者に合わせた曲を使用して歌ったり踊ったりしている。

また、初めて秋まつりにて、ステージに上がりオープニングで練習した曲で踊って、地域の方や保護者の方に練習の成果を発揮した。普段は恥ずかしがり屋の利用者や遠慮する利用者が自分からステージに上がって笑顔で踊る姿を見て、とても嬉しく思うと同時に、来年度も、秋まつりに向けて練習をし、発表を行いたいと考えている。



ウ 絵画教室

令和6年度から講師を招いて、毎月3回、月曜日の午前中に、絵画教室を行っている。12名の利用者が各自の思いを込めて賑やかに会話を楽しみながら、それぞれの得意な画材を使って制作に取り組んでいる。月に数回の開催に変わったことで、参加している利用者からは毎週の楽しみとなっているとの声も聞いている。令和6年度は絵画展での入賞は叶わなかったが、年2回の展覧会をめざして、利用者の個性を活かした作品になるように支援をしている。また、法人内の他事業所との協力を得て、利用者の絵を使ったカレンダーの製作にも取り組んでいる。

自分の思いを表現できる機会でもあり、利用者が気持ちよく参加できるように支援している。



(3) 主な行事

行 事 名		内 容
1	<キャンプ> (8月～9月の期間内)	令和6年度は、岐阜県関市洞戸の法音寺信行道場にて、キャンプを行った。それぞれのフロアごとに工夫を凝らし利用者のニーズに合わせた内容で、花火やお弁当、バーベキューを楽しんだ。日常から離れ、自然を満喫しながら有意義な時間を過ごした。毎年楽しみにされている方が多いので、令和7年度も利用者が楽しめるように実施したいと考えている。
2	<小原寮親睦会>	10月の面会日に併せて行われている親睦会は、毎年利用者・家族・職員三者の交流を深める目的として、調理実習やお弁当の会食、喫茶を楽しむ他、利用者の日常を写真や映像を使用して紹介するなどしている。令和6年度は10月に『小原福祉ビレッジ秋まつり』が開催されたため中止となった。
3	<クリスマス会> (12月24日)	毎年、多目的ホールでクリスマス会を行った。各フロアごとに多目的ホールへ招待し、ケーキとお菓子を楽しんだ。ホール内の飾りつけだけでなく、催し物として千本引きとお菓子くじを企画・実施した。また、お上人サンタからもクリスマスプレゼントがもらえ、利用者の笑顔を沢山見ることができた。令和7年度は、利用者により楽しんでいただけるような企画・運営をしていきたいと考えている。



(4) 小原福祉ビレッジ秋まつり

10月12日に小原寮、小原安立、小原学園の三施設合同で開催した。地域のボランティアの協力を得る他、豊田市社会福祉協議会、家族会と協働することができた。令和5年度は利用者とその家族が楽しんでいただけたが、令和6年度は地域住民をお招きしてより盛大に開催することができた。

内容は小動物とふれ合える移動動物園やダンスショー、小原中学校吹奏楽部による演奏、小原学園の利用者による太鼓演奏など、様々なイベントを実施した。また、包み揚げピザやタコライス等、バラエティ溢れる食事をキッチンカーを通じて提供した。夕方には地域の花火師『小原宴火』と職員による手筒花火を打ち上げた。



(5) 地域交流関連行事

	行 事 名	内 容
1	<軽トラあんどんパレード> (10月5日)	豊田市のわくわく事業である「軽トラあんどんパレード」に令和6年度も参加させていただいた。「小原の夜にあかりの華を咲かそう」をテーマに小原3施設合同で職員と利用者が一団となって、小原和紙などを使用したあんどん作品を作成した。地域の方々も、軽トラックに個性豊かな作品を乗せ、あんどんで作品を灯しながら、小原地区を巡った。
2	<小原文化まつり> (10月27日)	小原交流館で開催され、小原歌舞伎や小原太鼓など小原地区の芸能発表を中心に行われている。小原地区の住民や企業による食べ物などの出店があり、小原寮も毎年出店している。ブースに自主生産品の販売コーナーを設け、販売を通して小原寮を知っていただくことで地域の人々との交流を深めている。今年度は、小原中学校の学校祭と合同で行われ、ガチャガチャやカレンダーの販売、農作物や手芸・陶芸の作品などを販売することができた。
3	<四季桜まつり> (11月)	小原地区最大のイベント四季桜まつりに毎年出店し、陶芸品や手芸品・農作物などを販売していたが、令和6年度は、他施設の利用者と一緒に四季桜まつりを観光して参加することができた。来年度からは、四季桜まつりに出店し、小原寮の利用者と共に盛り上げていきたい。
4	<石畠ふれあい朝市> (毎月第1土曜日)	施設近隣地区（藤岡町石畠地区）で開催されている朝市（1月・8月を除く毎月第1土曜日の午前中に行われている）に、平成20年から参加させていただいている。年々、出店者も増えていき、活気あふれる行事となっている。参加している利用者も地域の方々とのふれあいを、毎回楽しみにしている。小原寮からは自主製品である陶芸品や農作物、利用者家族や地域の方々のご厚意で集まった生活余剰品の販売をしている。更に、子供たちにも楽しんでいただけるよう輪投げやボーリングゲームも開催している。今年度は、間伐材プロジェクトと共同で、輪投げゲームを開催し、子供たちからも広く知られるようになり、たくさんの来客を迎えることができた。
5	<ふれあい広場☆わんだふる> (5、7、9、11、1、3月の土曜日)	年間8回、小原寮多目的ホールを地域の方たちや小原学園、小原安立の利用者たちに開放して行っている交流行事である。近隣地域のお店に依頼した、お店自慢の手作りお菓子や飲み物を、ウェイトレス、ウェイター役の利用者が注文を受け、喫茶店のように、席まで届けている。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和5年度は奇数月の最終金曜日に隔月で各棟小原寮の利用者のみで午後の時間を使って行った。令和6年度は、1日を通して開店し、ゆったりとした時間の中で、ケーキや飲み物を楽しんでもらった。

13. 家族とのつながり

(1) 月別合同行事予定

月 別	行 事 名	月 別	行 事 名
4月	春期家庭帰省	10月	小原寮親睦会・小原福祉ビレッジ秋まつり
5月	春期家庭帰省	11月	小原移転20周年記念式典・面会日・家族会例会
6月	面会日・家族会例会	12月	冬期家庭帰省
7月	面会日・家族会例会	1月	冬期家庭帰省
8月	夏期家庭帰省	2月	面会日・家族会例会
9月	面会日・家族会例会	3月	個別懇談会・家族会合同学習会

※ 令和6年度は利用者ご家族、地域住民を招いて『小原福祉ビレッジ秋まつり』を実施した。

(2) ボランティアとしての関わり

施設内で実施される各行事のみならず、隣地区で実施されている石畳朝市や地域行事の準備から参加に至るまで、家族の方々にボランティアとして協力していただいている。

今後も、「利用者」・「家族」・「職員」の三者が共に協力していくことで、より地域に密着した開かれた施設づくりを目指している。

(3) SNSを利用しての関わり

メール配信やインスタグラム等のSNS（ソーシャルネットワークサービス）を通じて、家族に利用者さんの日頃の様子や寮の活動について、広く発信している。利用者さんの笑顔や活躍の場面を見て、保護者や家族、関係者から好評を得ている。これからもSNSを活用し、リアルタイムで利用者の喜びの声を保護者や家族に届けていきたい。

(4) 各フロアユニット独自の合同行事

令和6年度は中止となったが、例年は小原寮親睦会が開催され、各フロアが独自に利用者・家族・職員の親睦を図る企画を実施している。家族と過ごす時間は何にも代えがたい大切な時間であり、利用者たちは日々の生活では見せない表情や行動を見せてくれる貴重な取組となっている。



家族と小原寮が抱える課題

利用者の高齢化に加え、ご家族の高齢化も進んでおり、帰省・面会の減少が顕著に表れている。小原寮の立地環境もあるため、家族会の例会では必要に応じてバス停（大草）まで公用車での送迎を行っている。

14. 身元引受人・成年後見人の状況

令和7年4月1日現在（単位：人）

区分	身元引受人					成年後見人					
	親	兄弟 姉妹	その他の親族	不明 その他	合計	親	兄弟 姉妹	その他の親族	第三者 後見人	なし	合計
A-1	12	9	0	2	23	0	3	0	7	13	23
A-2	6	12	2	3	23	0	11	0	11	1	23
B-1	5	14	1	3	23	0	10	0	7	6	23
B-2	14	5	0	3	22	4	5	0	4	9	22
C-1	16	5	2	1	24	2	4	0	6	12	24
C-2	11	4	3	0	18	3	2	1	3	9	18
計	64	49	8	12	133	9	35	1	38	50	133

※義理の親、兄弟姉妹についてはその他の親族に含む。

15. 家族の面会および帰省状況

令和7年4月1日現在（単位：人）

面会状況	区分	対面での面会	Webでの面会	全く なし	主な面会者			帰省状況	区分	帰省の有無	
					親	兄弟 姉妹	その他			あり	なし
A-1	9	0	14	5	3	1		A-1	7	16	
A-2	7	0	16	1	4	2		A-2	5	18	
B-1	15	0	8	5	6	4		B-1	6	17	
B-2	9	0	13	5	1	3		B-2	7	15	
C-1	6	0	18	7	1	1		C-1	7	17	
C-2	2	0	18	4	1	2		C-2	2	18	
計	48	0	87	27	16	13		計	34	101	

16. ボランティア受入延べ人員状況

令和6年度実績（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
環境整備	51	28	0	30	0	29	13	48	0	0	0	28	227
演奏・演劇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ふれあい広場 ☆わんだふる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
縫製	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文化活動	2	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	34
その他※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	53	31	3	33	2	32	16	51	3	3	3	31	261

17. 短期入所事業の状況

在宅福祉サービスの充実のため、施設機能の専門性を生かし、短期入所（ショートステイ）事業の取り組みを行っている。

2005年4月小原寮開設に伴い、9床（知的障がい5床（うち男3女2）・発達障がい4床（男のみ））の短期入所枠を設けている。

（1）短期入所登録状況

令和7年4月1日現在（単位：人）

性 別		計	市 町 村 别									計
男	女		豊田市	名古屋市	瀬戸市	春日井市	半田市	知立市	刈谷市	碧南市	みよし市	
13	3	16	10	1	1	1	1	0	1	1	0	16

令和6年度は、昨年度の引き続き入所を前提とした利用も増え、短期入所が正式な入所に繋がるパターンが増加してきた。また、入所待機登録者に短期入所の利用を働き掛け、入所者の確保にも繋げた。

また、長年にわたり利用継続をされている方については、相談支援専門員と連携を取りながらも、引き続き短期入所サービスを利用されている。

※令和6年度の集計では、登録のみでここ10年間利用のない登録者をデータから削除し、現在利用のある利用者のみを登録者としてカウントした。

（2）月別の利用日数

令和6年度実績

年 度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	日数	34	36	32	33	39	14	28	52	41	8	33	89	439
令和6年度	日数	59	39	59	68	72	60	36	35	71	84	66	34	683

短期入所利用から施設入所へ

令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響と小原寮の対応で利用者数、延べ日数共に減少していたが、短期入所利用者は微増、延べ日数が増加傾向にある。これには、小原寮の小原寮の入所利用者の退所者増加から、入所者確保のため短期入所利用者を施設入所利用者へと転換してきたためである。短期利用が半減している月は、施設入所利用者が退所（死亡含む）し、短期利用者を施設入所に切り替えて対応していた結果である。

18. 特定相談支援事業の状況

平成 26 年 6 月「指定特定相談支援事業所 小原寮」として事業開始して 10 年目を迎えた。
小原寮利用者の大半の計画相談支援を担っている。

実施状況

令和 6 年度実績（単位：件）

	サービス等利用計画案 (新規)	サービス等利用計画案 (更新)	サービス等利用計画	モニタリング報告 (継続)
4月	0	4	2	20
5月	0	1	4	7
6月	1	2	1	10
7月	0	2	3	10
8月	0	1	2	13
9月	0	4	1	20
10月	2	2	4	24
11月	0	0	4	9
12月	0	0	0	13
1月	0	2	0	13
2月	1	1	2	14
3月	0	2	2	20
小計	4	21	25	173
合計		273		

※計画対象者：障がい福祉サービス、地域相談支援の支給決定を受ける者（主たる対象者 - 知的障がい者）

※サービス内容：①サービス利用支援

- ア サービス等利用計画案の作成
- イ 指定障がい福祉サービス事業者、指定一般相談支援事業者との連絡調整
- ウ サービス等利用計画の作成

②継続サービス利用支援

- ア モニタリング期間ごとに、サービス等利用計画が適切かどうか、サービスの利用状況を検証
- イ 検証の結果及び心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向、その他事情を勘案し、サービス等利用計画の見直し
- ウ 見直しの結果に基づき、いずれかの便宜の供与

※営業日：月曜日から金曜日（祝日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日を除く）

※営業時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分

19. グループホーム さくやの概要

施設の概要

(1) 目的

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律により、支給決定を受けられている方に対して、自立を目指し、地域において共同して日常生活が営むことができるよう援助を行う。

(2) 名称等及び所在地

①名 称 さくや

②事業名及び定員 共同生活援助事業 9名（事業者登録番号 第2323400131号）

③所 在 地 愛知県豊田市小原町上平854番23

(3) 設置経営

社会福祉法人 昭徳会

(4) 沿革

平成27年4月1日 事業開始

(5) 敷地及び建物

ア 敷地 1,077m²

イ 建物 343.67m²

ウ 建物構造 木造2階建

職員配置及び組織の状況

(1) 職員配置

令和7年4月1日現在

職種	員数	内訳		常勤換算 後の人員	指定基準	備考
		常勤	非常勤			
管理 者	1	1		1	1	所長
サービス管理責任者	1	1		0.5	0.5以上	世話人兼務
世話人	1(1)	1(1)		1.5	1.5	利用者職員比率(6:1)
生活支援員	5		5	2.1	1.69以上	
看護員	1		1	0.1	0.1	
計	10(1)	3(1)	7			

() は兼務で別掲

(2) 勤務体制表

職種	時 間 割 り 分 け	勤務時間																								休憩時間	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	
生活支援員 世話人	早出								7:00																	7:00 16:00	1時間
	日勤								9:00																	9:00 18:00	1時間
	遅出																12:00									12:00 21:00	1時間
	宿直								7:00																	21:00 7:00	

利用者の状況

(1) 入退所

令和4年度～令和6年度 (単位:人)

区分 年度	入所 (在宅、施設移行、医療機関等)			退所 (施設移行、長期入院、家庭復帰、死去等)		
	男	女	計	男	女	計
令和4年度	0	0	0	0	0	0
令和5年度	0	0	0	0	0	0
令和6年度	0	1	1	0	1	1

※平成27年4月1日開設 小原寮から9名が施設移行して入所

(2) 利用期間

令和7年4月1日現在 (単位:人)

期間	1年未満	1年以上～ 2年未満	2年以上～ 3年未満	3年以上～ 5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上
男	0	0	0	1	0	3
女	0	1	0	0	0	4
計	0	1	0	1	0	7

(3) 年齢

令和7年4月1日現在 (単位:人)

区分	20歳 未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳 以上	計
男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
女	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	5
計	0	1	1	0	1	0	0	0	3	1	2	9

(4) 障がい支援区分

令和7年4月1日現在 (単位:人)

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均支援区分
男	0	0	0	3	1	0	4	男 4.3
女	0	0	1	2	2	0	5	女 4.2
計	0	0	1	5	3	0	9	全体 4.3

20. 令和6年度 職員会議・研修参加状況

施設長

番号	日付	主催者（会議・研修名）	
1	4月17~19日	林業・木材製造業労働災害防止協会岐阜県支部	伐木等の業務に係る特別教育
2	5月21日	愛知県知的障害者生活サポート協会	愛知県知的障害者生活サポート協会社員総会
3	5月30~31日	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	中核的人材養成フォローアップ研修
4	6月17日	社会福祉連携法人となりの	社会福祉連携法人となりの社員総会
5	7月18日	豊田市	強度行動障害支援検討会
6	7月19日	あいち発達障害者支援センター	あいち発達障害者支援センター連絡協議会
7	9月26日~27日	公益財団法人日本知的障害者福祉協会 東海地区会	東海地区知的障害関係施設長等研究協議会
8	12月12~13日	ウェルフェア・J・ユナイテッド株式会社	WJU 勉強会
9	1月16~17日	豊田市	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者（実践研修）
10	1月30日	豊田市	豊田市地域自立支援協議会拠点部会意見交換会
11	2月7日	日本福祉大学提携社会福祉法人	日本福祉大学提携社会福祉法人実践研究発表会
12	2月14日	心身障害ホーム部会	心身障害ホーム部会総会
13	2月27~28日	社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会	全国社会就労センター長研修会

課長

番号	日付	主催者（会議・研修名）	
1	4月19日	障害者支援施設部会	障害者支援施設部会施設長会
2	7月10~12日	豊田市	伐木等の業務に係る特別教育
3	10月9日	愛知県社会福祉協議会	苦情受付担当者研修会
4	10月16日	豊田市	安全運転管理者講習
5	1月24日	障害者支援施設部会	障害者支援施設部会施設長会

主任グループリーダー

番号	日付	主催者（会議・研修名）	
1	4月17日	愛知県	障害支援区分認定調査員研修
2	7月11~12日	公益財団法人日本知的障害者福祉協会	全国知的障害関係施設長等会議
3	10月17日~19日	中央福祉学院	社会福祉法人会計実務講座初級コース
4	11月29日	愛知県知的障害者福祉協会 障害者支援施設部会	サービス管理責任者研修
5	12月9日	愛知県	愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修
6	12月12~13日	ウェルフェア・J・ユナイテッド株式会社	WJU 勉強会
7	1月17~18日	一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会	ステディツアー（社会福祉法人睦月会見学）
8	1月29日	愛知県社会福祉協議会	苦情解決責任者等研修会
9	2月18日	日本福祉大学	日本福祉大学提携社会福祉法人サミット
10	5・7・9・11・1月	一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会	綿ゼミ オンライン（全5回）

生活支援員

番号	日付	主催者（会議・研修名）	
1	4月17日	愛知県	障害支援区分認定調査員研修
2	4月17~19日	林業・木材製造業労働災害防止協会岐阜県支部	伐木等の業務に係る特別教育
3	4月26日	公益財団法人 愛知県労働協会	報連相セミナー
4	5月12日	TEACCH プログラム研究会	TEACCH プログラム基本のき
5	5月17日	公益財団法人 愛知県労働協会	コーチングコミュニケーション講座
6	5月25日	愛知県相談支援専門員協会	ASK 総会・研修会
7	5月30~31日	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	中核的人材養成フォローアップ研修
8	6月6~7日	愛知県知的障害者福祉協会	中堅職員研修 シン・コミュニケーション
9	6月10日	愛知県知的障害者福祉協会	虐待防止・身体拘束適正化措置内容把握研修
10	6月12~14日	豊田市	伐木等の業務に係る特別教育
11	6月18日	公益財団法人 愛知県労働協会	アサーティブコミュニケーション
12	6月23日	愛知県自閉症協会 つぼみの会	発達障害の基礎講座
13	6月29日	株式会社 ゆう建築設計	障害者セミナー2024「建築は支援のひとつ」ゆう建築設計の障害者建築への向き合い方
14	7月3日	公益財団法人 愛知県労働協会	ストレスコントロール
15	7月10~12日	豊田市	伐木等の業務に係る特別教育
16	7月12日	公益財団法人 愛知県労働協会	部下を伸ばす「ほめ方・叱り方」の極意
17	7月19日	愛知県社会福祉協議会	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者（基礎研修）
18	7月25~26日	豊田市	強度行動障害支援者養成研修（基礎）
19	7月29日	愛知県知的障害者福祉協会	むもん見学ツアーワーク
20	7月31日	愛知県知的障害者福祉協会	権利擁護セミナー（全3回）
21	8月2~3日	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	中核的人材育成研修
22	8月5日	愛知県	あいち農福連携セミナー
23	8月8日	愛知県知的障害者福祉協会	野澤ゼミ同窓会（勉強会）
24	8月9日	名古屋市	虐待防止・身体拘束適正化研修
25	8月22~23日	愛知県社会福祉協議会	キャリアパス研修【チームリーダー課程】
26	8月26日	豊田市	障がい者虐待防止研修
27	9月4日	公益財団法人 愛知県労働協会	サーパントリーダーシップ研修
28	9月11日	公益財団法人 愛知県労働協会	業務改善の仕事術研修
29	9月26日~27日	公益財団法人日本知的障害者福祉協会 東海地区会	東海地区知的障害関係施設長等研究協議会
30	10月1日	公益財団法人 愛知県労働協会	段取り力強化セミナー
31	10月2~3日	一般財団法人 群健福祉広報協会	国際福祉機器展&フォーラム
32	10月3~4日	日本知的障害者福祉協会	全国知的障害福祉関係職員研究大会（福井）
33	10月8日	公益財団法人 愛知県労働協会	「報連相」プラッシュアップセミナー
34	10月10~11日	愛知県社会福祉協議会	キャリアパス研修【中堅職員課程】
35	10月13日	RX組	RX組セミナー 采ワザ介護術
36	10月18日	豊田市	重層的支援体制整備推進事業合同研修
37	10月19日	豊田市	間伐材研修 みんなで考える森の歴史とミライ（全3回）
38	10月26日	豊田市	間伐材研修「森林と災害」（全2回）
39	11月5日	愛知県社会福祉協議会	発達障害者支援研修
40	11月5日	豊田市自立支援協議会	自立支援協議会「全体支援者研修」
41	11月6日	豊田市	意思決定フォロワー導入講座
42	11月6~7日	公益財団法人日本知的障害者福祉協会 東海地区会	東海地区職員研修会
43	11月10日	特定非営利活動法人 愛知県相談支援専門員協会	愛知県専門コース別研修【意思決定支援コース】
44	11月12日	公益財団法人 愛知県労働協会	コーチングセミナー
45	11月14~15日	障害者支援施設部会	施設訪問研修（国立のぞみの園）
46	11月14~15日	豊田市	強度行動障害支援者養成研修（実践）
47	11月16~17日	全国ノーリファティング推進協会	ノーリファティング研修

48	11月23~24日	一般社団法人 Hyper Five	自閉症ネオカンファレンス202
49	11月28日	公益財団法人 愛知県労働協会	働く人のための労働法入門講座（全2回）
50	11月28日	名古屋大学	防災・減災・危機管理展
51	11月29日	豊田市社会福祉協議会	成年後見制度と権利擁護の知識研修
52	11月29日	愛知県知的障害者福祉協会 障害者支援施設部会	サービス管理責任者研修
53	12月4日	愛知県	愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修
54	12月5日	ブティックス株式会社	介護テクノロジー展
55	12月5~6日	愛知県知的障害者福祉協会	リーダー研修
56	12月9日	静岡県社会福祉人材センター	職場内研修の組み立て方を学ぶ
57	12月18日	愛知県社会福祉協議会	カスタマー・ハラスメント研修
58	12月19~20日	日本知的障害者福祉協会	障害者支援施設部会全国大会（広島）
59	1月16日	愛知県	愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修
60	1月22日	公益財団法人 愛知県労働協会	SNS活用セミナー
61	1月26日	愛知県自閉症協会・つぼみの会	自閉症の理解と支援
62	1月27日	愛知県	外国人介護人材受入セミナー
63	1月29~30日	日本知的障害者福祉協会	日中活動支援部会全国大会（埼玉）
64	1月31日	名古屋市	メンタルヘルス研修～ディズニーランド～
65	2月1日	愛知県介護福祉会	障がい者サポート研修
66	2月4日	公益財団法人 愛知県労働協会	業務マニュアルの作り方・活かし方セミナー
67	2月4日	アチーブメント株式会社	目標達成の技術
68	2月6~7日	愛知県知的障害者福祉協会	愛知県知的障害関係職員等研究大会（豊橋）
69	2月8~9日	日本自閉症協会	英国から学ぶこと・今、私たちにできること
70	2月14日	名古屋大学	非常時の電源エネルギーについて
71	2月16日	愛知県自閉症協会・つぼみの会	自閉症の理解と支援
72	2月19日	公益財団法人 愛知県労働協会	アンガーマネジメントと自己肯定感セミナー
73	2月20日	愛知県	指導担当職員特化型セミナー
74	2月23~24日	TEACCH プログラム研究会	TEACCH コラボレーションセミナー
75	2月25日	愛知県知的障害者福祉協会	高齢者知的障害者への支援に関する研修会
76	2月26日	豊田市	相談支援研修会
77	2月27日	豊田市	強度行動障がい支援検討会
78	2月28日	豊田市自立支援協議会	こどもの相談支援で必要な着眼点について学ぶ研修
79	3月4日	公益財団法人 愛知県労働協会	職場指導の基本力養成講座
80	3月7日	愛知県社会福祉協議会	福祉関係職員基礎研修
81	3月12日	豊田市自立支援協議会	相談支援研修会
82	3月13日	名古屋市	リスクマネジメント研修
83	3月19日	日本メンター協会	メンター養成セミナー
84	3月29日	RX組	RX組セミナー 楽ワザ介護術
85	年間視聴	自閉症eサービス全国ネット	自閉症eサービス

看護員

番号	日付	主催者（会議・研修名）
1	8月2日	公益財団法人 愛知県労働協会
2	12月9~10日	全日本自閉症支援者協会（岩手）

栄養士

番号	日付	主催者（会議・研修名）
1	5月27日	豊田市
2	10月18日	豊田市
3	11月11日	太陽化学株式会社
4	12月3日	豊田市
5	1月31日	豊田市

事務員

番号	日付	主催者（会議・研修名）
1	7月12日	公益財団法人 愛知県労働協会
2	12月9日	静岡県社会福祉人材センター
3	12月10日	公益財団法人 愛知県労働協会
4	12月18日	愛知県社会福祉協議会

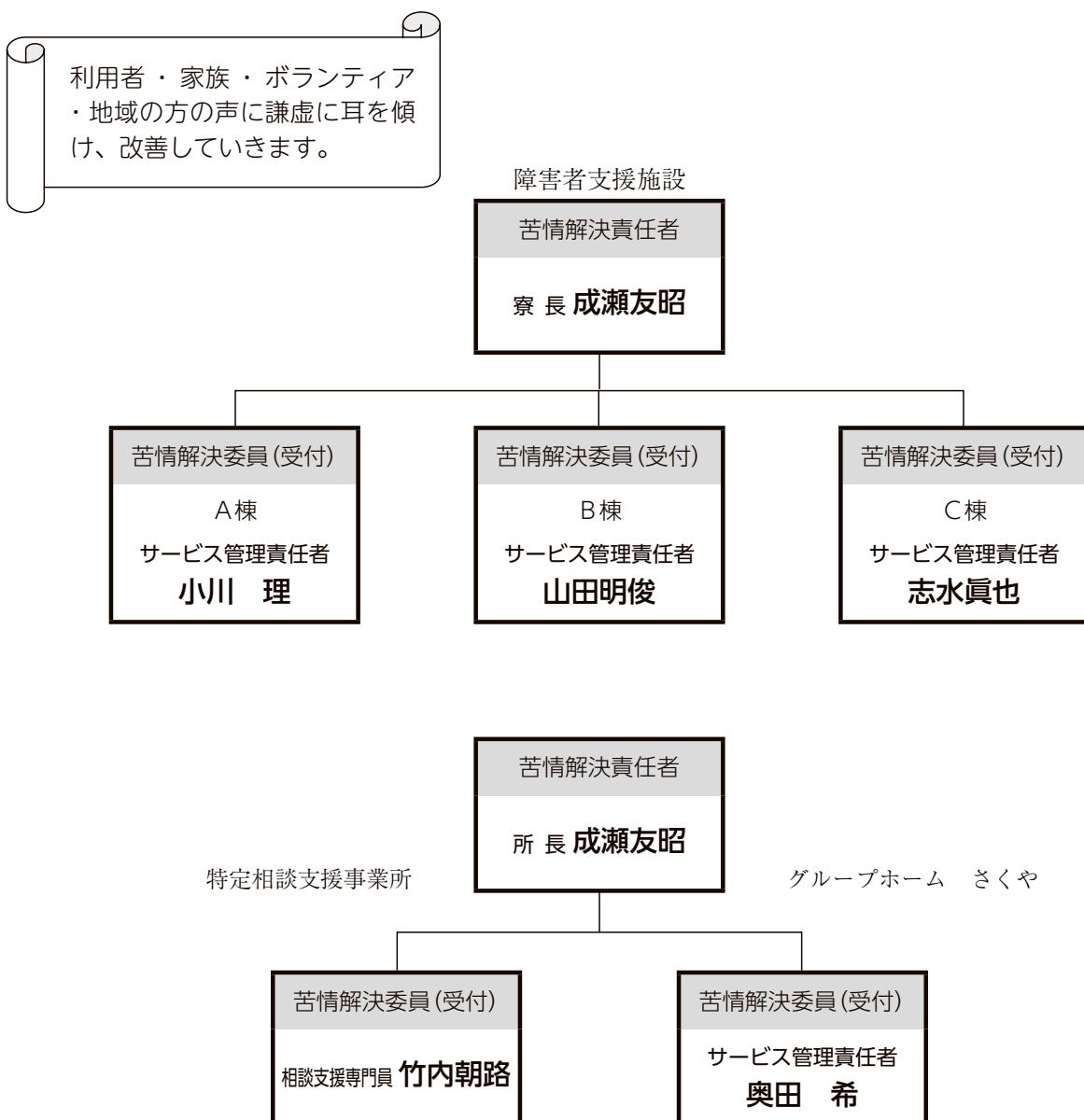
施設内研修

番号	日付	研修名（テーマ）
1	4月2日	新任・異動職員研修会
2	4月3日	消防機器・設備等説明会
3	10月9日	研修報告会
4	3月5日	研修報告会
5	3月5日	虐待防止研修
6	適時実施	虐待防止研修（入職者向け）
7	年4回	応急手当講習会

法人研修

番号	日付	会議・研修名（テーマ）
1	4月30日	新任役職者研修
2	5月10日	監督者研修
3	6月11日	GL研修①
4	6月21日	GL研修②
5	6月28日	初任者研修③-1
6	7月24日	エキスパート研修
7	8月29日	メンタルヘルス管理者研修①
8	9月20日	承認研修
9	10月2日	障害分野別専門研修①
10	10月5日	福祉セミナー
11	10月8日	管理会計研修
12	10月11日	初任者研修①
13	10月22日	メンタルヘルス管理者研修②
14	11月15日	初任者研修③-2
15	1月16日	第二回管理会計研修
16	1月24日	障害分野別専門研修
17	1月31日	SDG s カードゲーム研修
18	2月19日	防災研修
19	3月24日	新任職員研修①
20	3月25日	新任職員研修②
21	3月29日	新任職員研修③

21. 苦情解決組織図



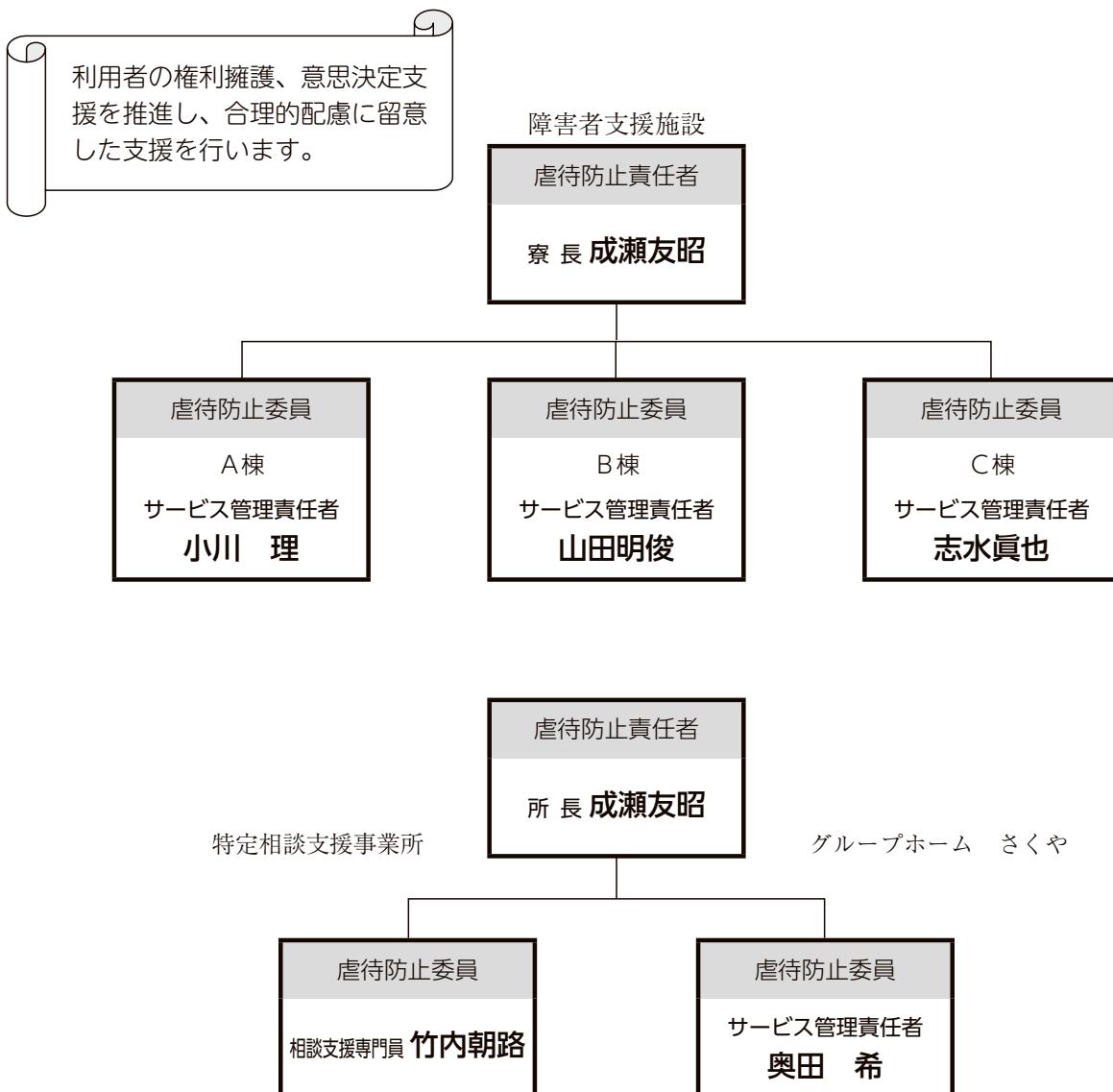
- ☆職員は、利用者の代弁者としての役割を大切にします。
- ☆『苦情相談受付記録表』に直接、記載してもらうか、聞きとった内容を代筆します。
- ☆苦情解決委員会を実施し、苦情に係る対応の検討及び改善を図ります。
- ☆他に、ヒヤリハットトラブル・事故報告事例を検討し、組織的に事故防止に努めます。
- ☆個人情報の保護につきましては、「個人情報保護法」を遵守します。

★苦情処理解決第三者委員★

久名木 浩志	地域代表	0565-65-3923
山本 和夫	石畠地区民生児童委員	0565-76-1123
三宅 燐	小原地区民生児童委員	0565-65-2469

22. 虐待防止について

虐待防止（身体拘束適正化）組織図



- ☆職員は、利用者の生活の質向上を大切にすることで虐待防止に取り組みます。
- ☆虐待防止委員会を実施し、虐待防止のための検討をし、職員に周知を図ります。
- ☆身体拘束適正化検討委員会を設置し、身体拘束の適正化に取り組みます。
- ☆人権意識、知識や技術向上のための研修を計画的に実施、参加します。

★虐待事案の行政受付先★

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会 運営適正化委員会

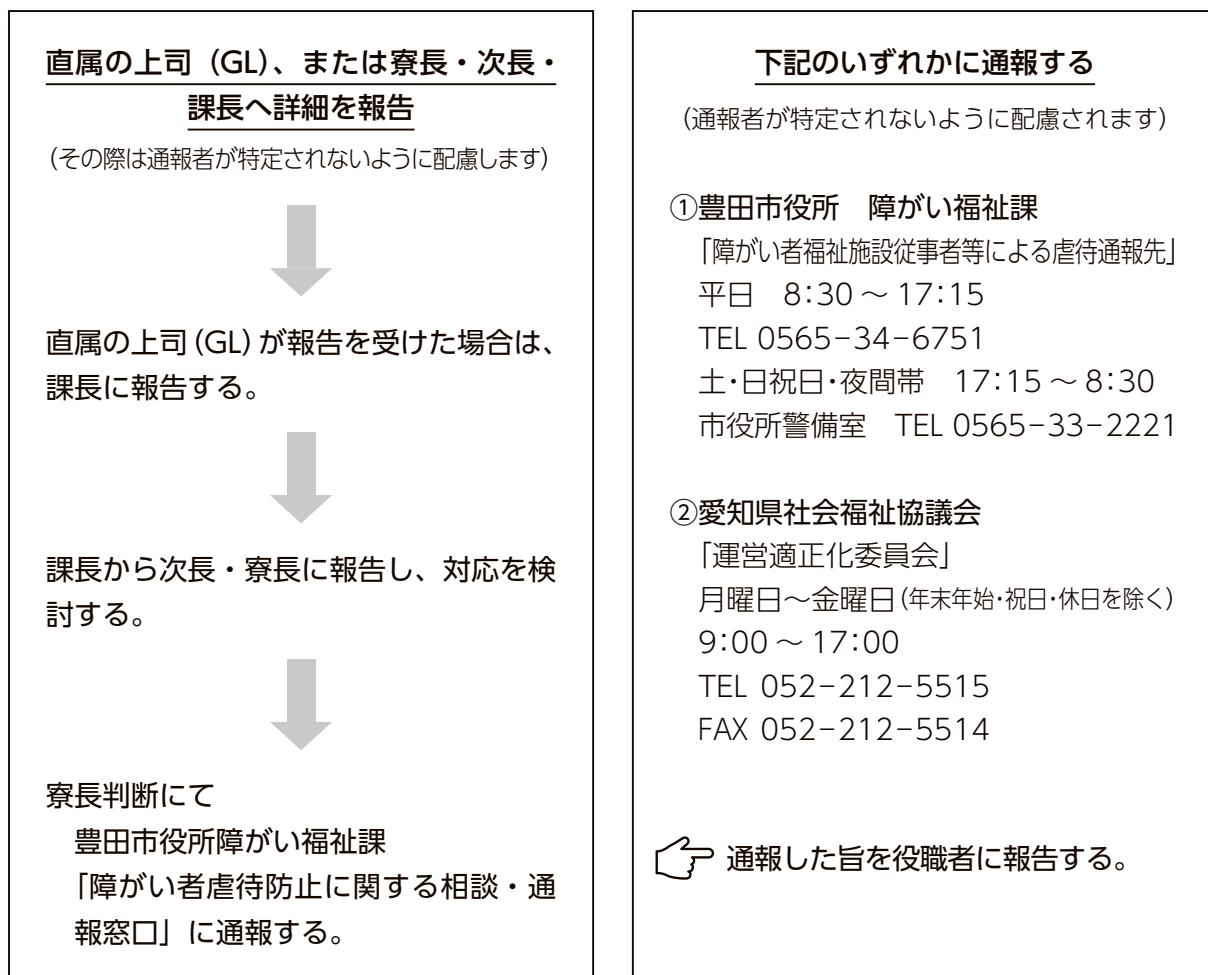
TEL : 052-212-5515 FAX : 052-212-5514

豊田市役所 障がい福祉課

TEL : 0565-34-6751 FAX : 0565-33-2940

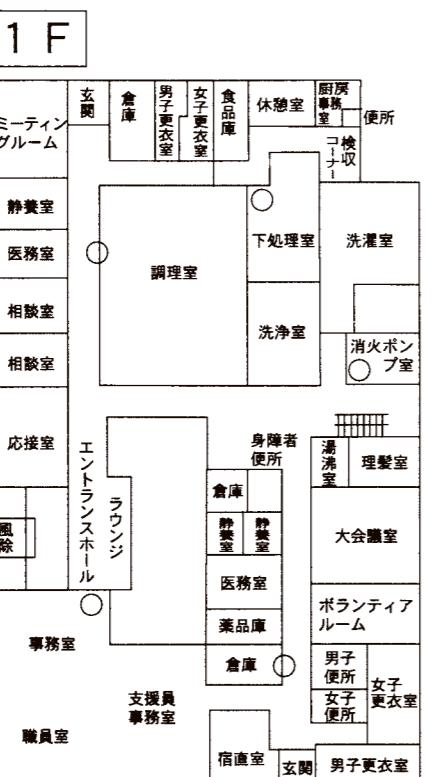
小原寮・さくや虐待通報手順チャート

小原寮や外出先で小原寮職員による利用者に対する虐待を発見

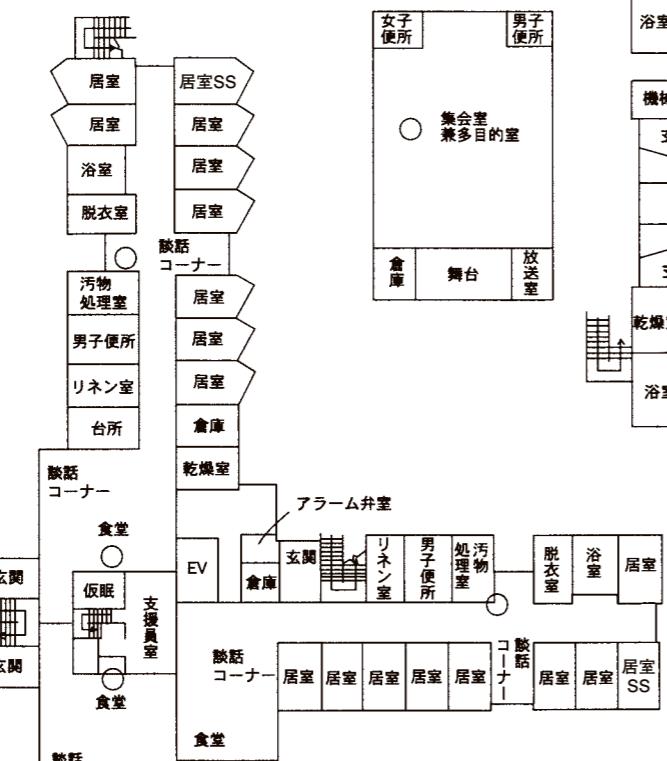


※通報内容は全職員に周知することとし、虐待防止・支援の改善に取り組みます。

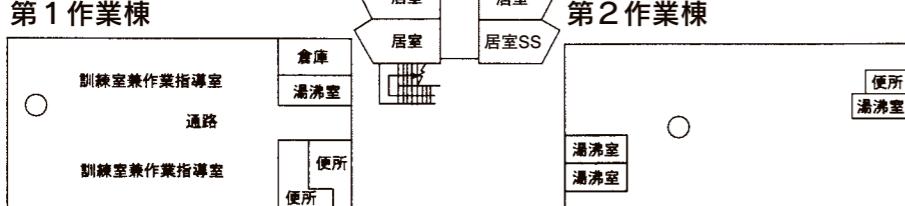
建物配置図



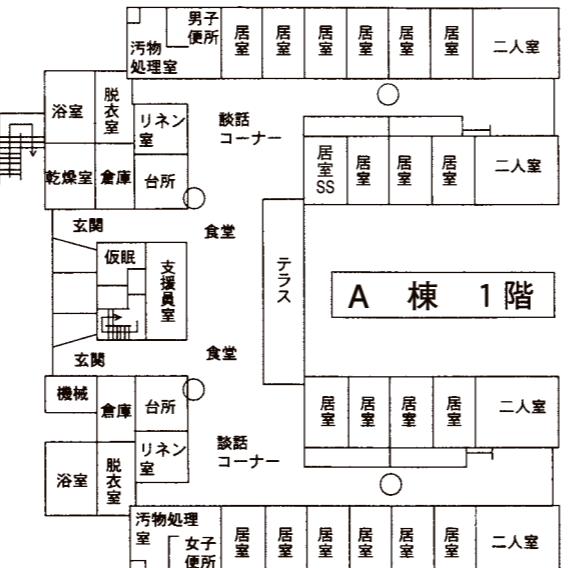
管理棟 1 階



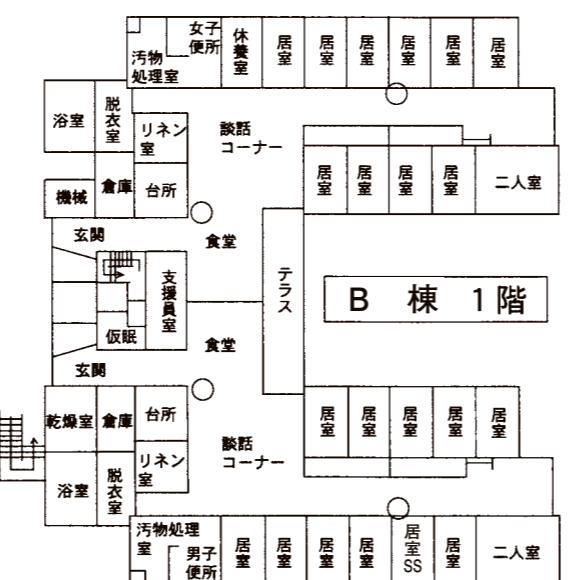
C 棟 1 階



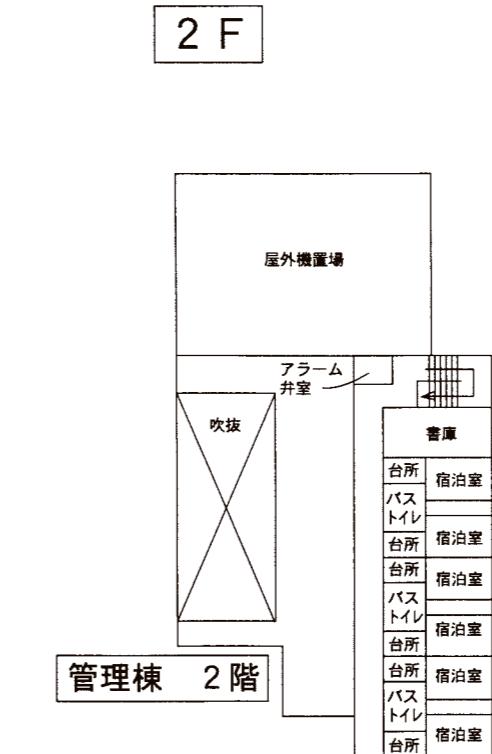
○印は消火器設置場所を表記



A 棟 1 階



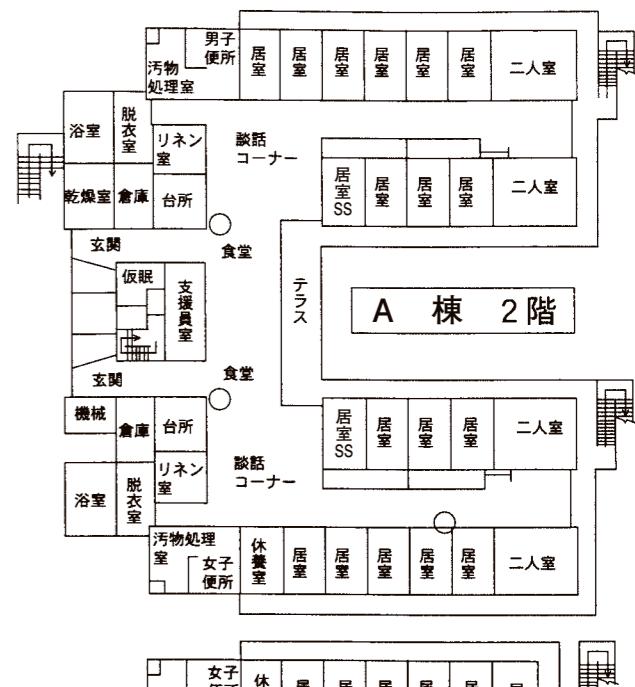
B 棟 1 階



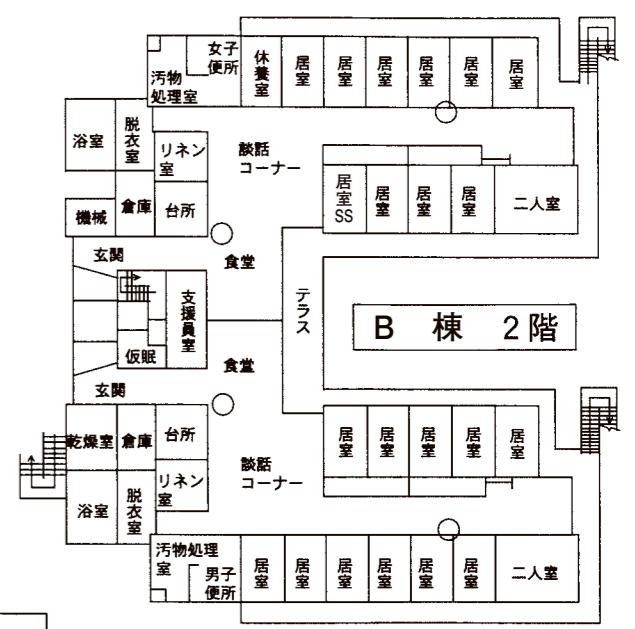
管理棟 2階



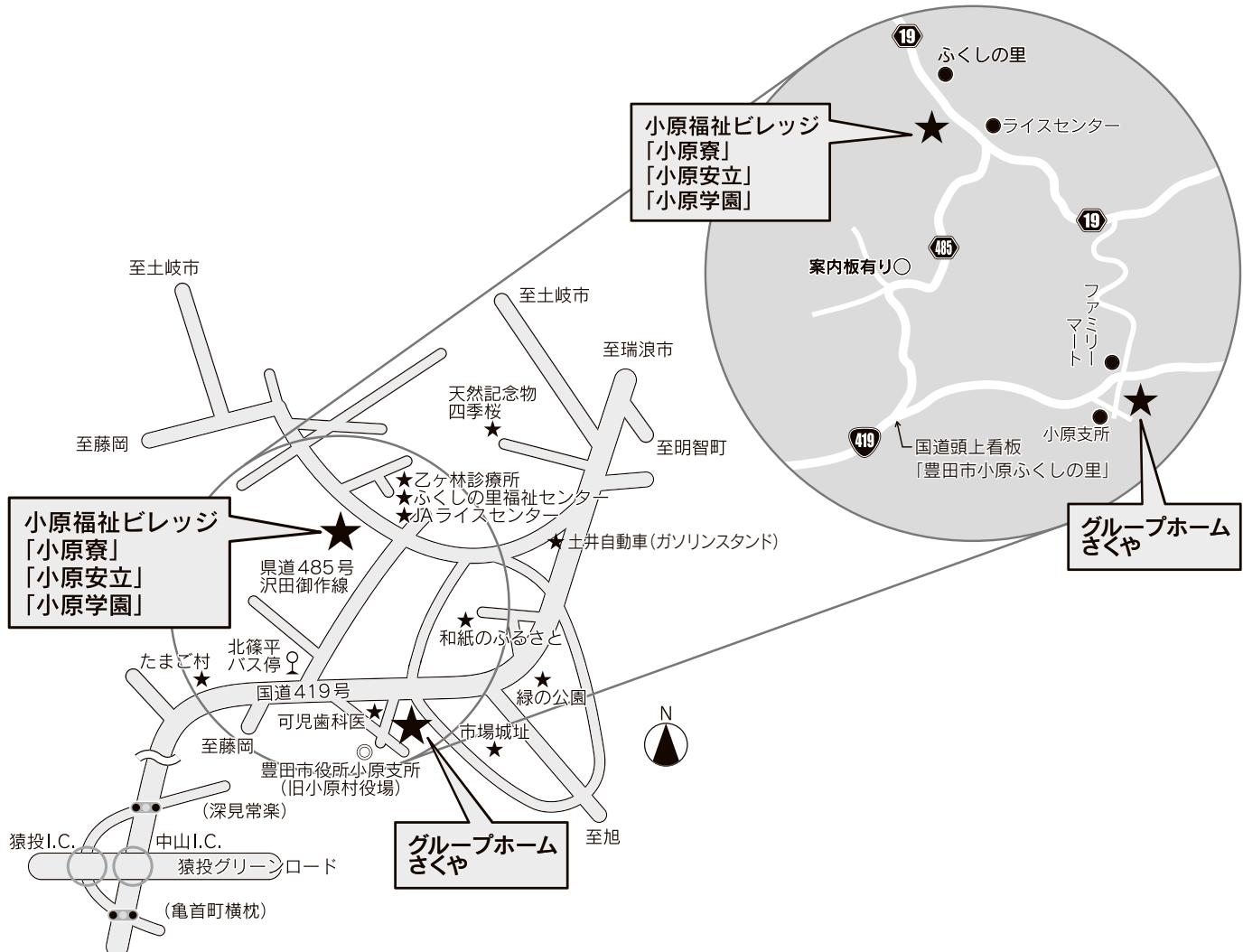
C 棟 2 階



A 棟 2 階



ラス B 棟 2



交通機関 ●名鉄豊田線豊田市駅下車

豊田おいでんバス「小原・豊田線」

上仁木行「北篠平（きたささだいら）」下車 徒歩 3km（約 40 分）

自動車 ● 東名高速道路「名古屋I.C.」利用

猿投グリーンロード「中山I.C.」から国道419号を瑞浪方面へ 30分

● 東名高速道路「豊田I.C.」利用

豊田市街地へ走り、国道419号を瑞浪方面へ 50分

● 東海環状自動車道「豊田藤岡I.C.」利用

国道419号を瑞浪方面へ 30分

社会福祉法人 昭徳会

障がい者支援施設 小原寮

〒 470-0564 愛知県豊田市沢田町座内 22 番地

TEL : 0565 - 66 - 2110 FAX : 0565 - 65 - 1311

E-mail : obararyo@syoutokukai.or.jp

<https://www.syoutokukai.or.jp/obararyou/>

※本誌においては、当該法令等の趣旨及び内容に変更を及ぼさない範囲と考えられる部分について、障害の「害」をひらがなで表記しております。